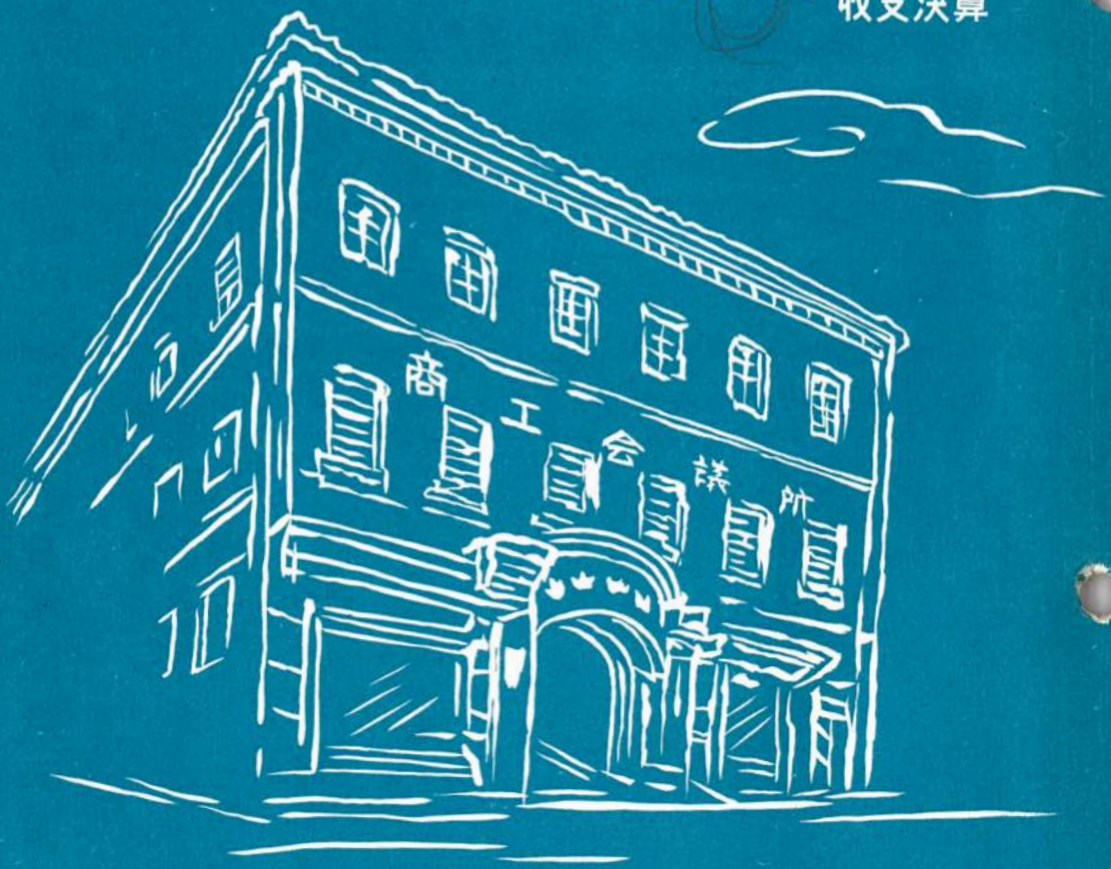
商工だより

役員
議員
改選特集号

附 昭和32年度 事業報告
収支決算



奈良県商工会議所編

NO. 15

1958

内外蚊帳
綿スフ織物

廣橋紡織合名会社

本社 奈良県北葛城郡広陵町
電話箸尾一二、一七四番
大阪出張所 大阪市東区南久太郎町二丁目一
電話大阪㉖五一七、五一八番

営業種目
煙草苗床用特殊加工苗育布
煙草苗床用育布
寒冷紗其他各種綿布
製造販賣

和洋織物株式會社

取締役社長 廣田義雄

大和高田市三倉堂七八八
電話高田 二一一七四番
二一一七五番

Nichiyo

ニチボー
オリオンテックス

必ずお気に召す生地・柄・お仕立

お求めは
このマーク

ニチヨー服

オーバ・スボン
上衣・学生服

• 信用ある一流洋服が
工場から直接みな様へ

消費者信用販売
ニチヨー服購入預金制度 をぜひ御利用下さいませ

大日本紡績株式会社製品取扱店

発売元 ニチヨー服販売KK.
後援 宮島産業株式会社

日本染織工業株式会社

取締役社長 越智岩太郎

営業種目
輸出・内需、綿・スフ・麻織物並に蚊帳地の製造・販賣・晒、シルケット、染色、樹脂加工並に蚊帳地染色仕上、縫製加工

本社 奈良市油阪町一〇五 電話奈良 五五一
本社工場 奈良市油阪町一〇五 電話奈良 五五二
西大寺工場 奈良市西大寺町 電話奈良 五五三
川上工場 奈良市川上町三六七 電話奈良 五五四
商事部 京都市中京区蛸薬師通東洞院東入ル 電話本局 九七九一九〇四

営業種目
食料品加工用繊維品、綿織ベルト
コンベヤーベルト、醸造用研磨用袋織
其他帆布、厚織物等製造

前山厚織工業株式會社

取締役社長 前山誠逸

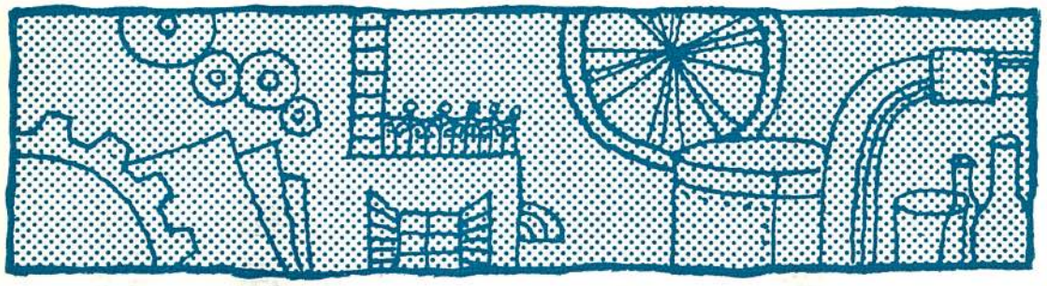
奈良県吉野郡下市町大字下市二九四
電話下市 一〇三番（事務所）
二六一番（工場）

奈良の銘筆
書道専門
大家用筆墨

章穂堂

あかしや老舗

奈良市餅飯殿町
電話 二一五〇番
振替大阪二四六八二番



商工だより　第十五号

目次

巻頭言　三たび会頭に就任して……吉川島次…一

特集

会議所新陣容成る……一
会議所役員、議員の面影……二
会議所役員、議員一覧……九
初議員総会の概況……一二
議員選挙、選任の概況……一五
会議所一ヶ年の歩み（三十二年度の事業とその決算）……一五

特別寄稿

観光地の会議所に望むもの……奈良市長　高椋正次…二六

論壇

最近の経済情勢について……日本銀行大阪支店長　三森良二郎…二七

要望

我等の望む三十四年度の税制……三一
中小企業対策について……三二

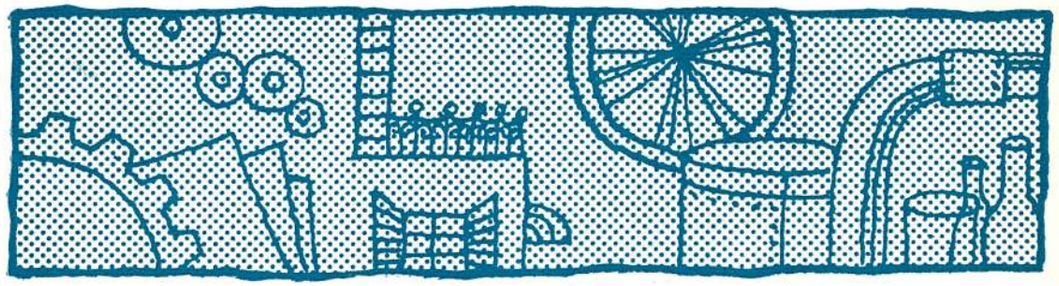
誌上紹介

奈良県産業の今昔（蚊帳の巻）……三三

解説

第三、四半期の景気見通し……三四

◆商工会議所は県立ではない、県内商工業者が自主的に作つている団体である。
◆商工会議所は商工業者のサービス機関であり、商工業者の代弁者である。
◆奈良県商工会議所は全国四百有余の会議所と繋りがあるのみならず世界各国とも連繋のある県下唯一の団体である。



随想

観光施設これでよいのか……M　K生…三五

商売往来

店員指導にこんな手もある……三六
題して「セールスマン読本」……三七
大切な職場の雰囲気……三八

茶ばなし

十年間で十億円節約する法……三七
個人が得か法人組織がよいか……三九

▽▽▽▽!!会議所便り!!△△△△

会議所で行う各種検定試験は国家試験同様……四〇
年末融資保証の受付は会議所でも……四〇
会議所に新しく御加入の業者御紹介……四〇

◎編集後記……K生

◆商工会議所の会員であることは商工業者の大きな誇りである。
◆商工会議所は特定の商工人のものではない、すべての商工業者に解放されている。

外観・機構の一新したトヨタ、トラック
各　種　乗　用　車
性能の優秀を誇る新トヨタ、デイーゼル
耐久性大なるトヨタ純正部品
理想のエンジンオイル「キヤツスル」

奈良トヨタ自動車株式会社

取締役社長　菊池武三郎

本　社　奈良市杉ケ町三〇
電話奈良代表六五五五～八
中古車部　奈良市南京終町二六九
電話奈良六五五九～六〇
高田営業所　大和高田市大道二丁目
電話高田二七九七番

益々好評の新型車
最新の設計・近代的外観美
ニツサン・ダツトサン・オースチン
ニツサンジユニア・U・Dデーゼル車
純正部品・用品

新奈良日産自動車販賣株式会社

専務取締役　松平八郎

奈良市油阪町六十五番地
電話奈良自四六九一番
至四六九四番

深夜営業の超短波小型タクシー

帝産自動車株式會社

本　社　奈良市杉ケ町三十一番地
本社営業所　電七七三五～六
国鉄前同　電七七三三～四

一分でも早く廻車出来るタクシー

各種自動車車体製作及修理

奈良市三条宮前町

奈良車体製造株式会社

取締役社長　須河作治

電話奈良(代表)六四二五番
六四二六番

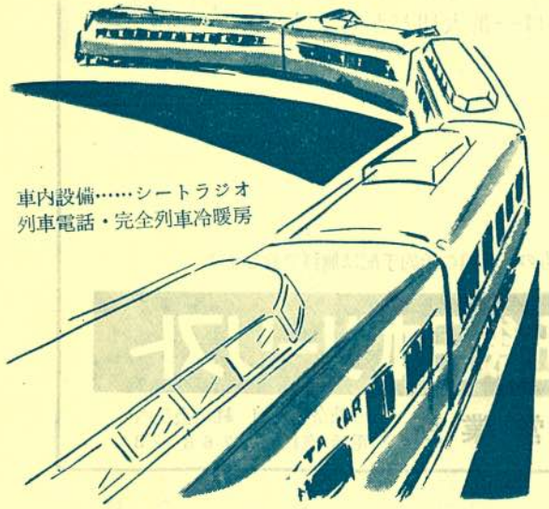
堅牢優美の奈良ボデー

大阪・名古屋・宇治山田を結ぶ

近鉄特急

話題のデラックス展望車ビスタ・カー

① 大阪・宇治山田間1日2往復運転
② 二階展望室は座席が10度外側にむきます
③ 全列車空気バネ台車で振動がありません
④ 座席指定の特急料金もいままで通りです



大阪上本町発	近鉄名古屋発	宇治山田発
7.40	8.00	8.40
8.40	9.00	9.40
○※ 9.40	○※ 10.00	
11.40	12.00	**12.40**
13.40	14.00	14.40
15.40	16.00	16.40
17.40	18.00	**18.40**
○ 18.40	○ 19.00	
19.40	20.00	20.40

太字……大阪・宇治山田間ビスタ・カー運転
○印……大阪・名古屋間のみ　※印…平日運転

座席指定特急券　5日前から発売
名古屋へ250円　宇治山田へ200円
大阪上本町駅　近畿日本ツーリスト　日本交通公社

近畿日本鉄道

トラックのお荷物の

通

奈良市油

日本通

サービスは我

関西

株式会社 奈良工場
尾潤二

一業番

宗是町一（大阪ビル内）
七一八三一～七
七三七〇～九番
五七五一～五番
堀

吉野営業所(下市)　220番

出張所

(郡山) 374番 (生駒) 449番 (天理) 332番
(柳生) 19の乙 (王寺) 440番(呼) (桜井) 495番
(郡山) 264番 (高田) 2763番 (橿原) 207番
(上市) 172番 (御所) 117番 (五條) 287番

関西電力株式会社奈良支店

支店長　淵岡美士磨

電話奈良　自五二〇〇　至七一番

トラックの御用命
お荷物の運送は通へ

奈良市油阪町（国鉄奈良駅前）

日本通運株式会社奈良主管支店

支店長　久松定秋
支配人

電話奈良　自四七六一番　至四七六五番（代表）

サービスは我社のモットー

奈良市横領町一〇〇の一
各種合成樹脂成型加工業
電話奈良四九三一～五番

積水化学工業株式会社奈良工場

取締役工場長　松尾潤二

本社　大阪市北区宗是町一（大阪ビル内）
電話土佐堀（一八三一～七番　七三七〇～九番　五七五一～五番

近畿電気工事株式会社　奈良支店

奈良市今辻子町　電話（奈良）3389 2073番

奈良営業所（奈良）2073番
橿原営業所（橿原）721番
吉野営業所（下市）220番

出張所

（郡山）374番（生駒）449番（天理）332番
（柳生）19の乙（王寺）440番（桜井）495番
（田原本）264番（高田）2763番（呼）（橿原）207番
（上市）172番（御所）117番（五條）287番

ニッサン　ダットサン

新　純二二　最

外観・各
性能の
耐久
理想

奈良ト

ンシー

株式會社

良市杉ヶ町三十一番地

七七三五～六
七七三三～四

旅には　それが一番です！

旅なれた方は、まずツーリストに行かれます
気軽にコースの相談や予約が出来るからです
経済的で楽しめる方法があるからです
それが旅には一番大切だからです！



のりもの、旅館の予約手配は無料で致します

近畿日本ツーリスト

奈良営業所　近鉄奈良駅前　経済会館内
電話 奈良 7，766～8

営業所全国96ヶ所

理

造株式会社

河作治

良（代表）六四二五番
六四二六番

巻頭言

◎三たび会頭に就任して

吉川島次

今回奈良県商工会議所議員役員の改選に伴ひまして、三たび会頭の職に選任していただきましたことは洵に感激に堪えない次第であります。

顧みますれば昭和二十八年五月、初めて会頭の職を汚しまして以来五箇年余、当時は会員数五百余名、年間予算四百万円余でありましたが、爾来役員諸氏初め関係者の御援助と商工業者各位の御認識によりまして、現在会員数は千名に近く、年間予算七百万円を計上し漸く、その基礎も確立されて参りましたが、戦後の変転極りない経済界に於きまして、微力、御期待に副い得なかつたことを痛感致しますとき、三たびこの重責を負いますことは実に危惧の念禁じ得ないものがあります。然し幸、過般の役員議員諸氏の改選に当りましては、各地区から有力な方々が議員に当選せられ又副会頭、常議員、監事等の役員も夫々斯界の第一人者と申上げても遜色のない方々の御就任を得ましたので、之等の方々の心からなる御援助、御指導と、過去五ケ年に亘る乏しき経験とに依り、この重責を果して行きたいと念願致して居る次第であります。

さて従来稍々もすれば「会議所は特定の業者の社交機関」であるかの様に考へられ勝でありましたが、近時当所各種の事業の進展に伴い御加入の方々が年と共に増加致して参りますことを考へまして も、決してその様なものでなく、商工業者の会議所であり、会員の会議所であるという御認識が最近高まつて参りましたことを物語つて居りまして、全県下あらゆる業界を包含した、産業界を代表する県下唯一の綜合経済団体であると自負致して居ります。

斯うした観点から私は日常県下産業界に派生する、あらゆる問題、例えば、金融に、労仂に、税務に、其他企業経営の合理化、輸出対策、観光施策等々について常に新らしい「センス」を以て、積極的に之を把握し、与論を結集するためには、当所の各業種別専門部会の活動と、各種委員会の調査研究とに依り、業界の意志を尊重して、機に臨み、時に応じて、適切、果敢な方途を構じて忠実に之を反映さすことに最善を尽したいと存じて居ります。

どうか商工業者の会議所として、真に親しまれる会議所として、問題の大小に抱わらず御利用いただきますと共に、当所の運営につき何かと御鞭撻下さいます様御願申上げまして私の就任の挨拶と致します。

（吉川産業株式会社社長）

会議所新陣容成る

去る九月末を以て奈良県商工会議所の会頭以下の役員並に議員は任期（３年）満了したので、別掲概況の通り業種別部会選出議員の選任を皮切りに９月16日100名の議員が新に選ばれ、次で10月１日には初議員総会が開かれて、会頭以下副会頭、専務理事、常議員、監事の役員が決定し、茲に新らしい陣容の許に奈良県産業の振興を目途として活発な運営が始められようとしています。

奈良縣銀行協会

南都銀行
日本勧業銀行奈良支店
三和銀行奈良支店
協和銀行奈良支店
住友銀行奈良支店
紀陽銀行五条支店

奈良県信用金庫協会

大和信用金庫
櫻井市櫻井町
櫻井市八五五～七

田原本信用金庫
奈良県田原本町
田原本一一四

郡山信用金庫
大和郡山市柳二丁目
大和郡山四三九、八七二

奈良市信用金庫
奈良市光明院町
奈良二七三五二二

月収の……わずか一割（盆・暮には その十倍）で
来年末には、みごと目標達成！

月賦で財産つくり
野村の減税けいぞく投資を御利用になると…

◇「野村の投資信託」（一口五千円）が、ますますおとくに、しかも、ますますお手軽に申込めるのです。

◇「野村の投資信託」のスバラしい配当・値上り（従来の実績では綜合利廻・年二割）のほかに、減税のオマケ（けいぞく額の十三パーセント）がつく一石三鳥ぶりです

二千五百円月賦ならば

今月（33年５月）スタート
33.5…… 2,500円
〃 6……25,000円
〃 7～11… 各2,500円
〃12……25,000円
小計65,000円
34.1～5……各2,500円
〃 6……25,000円
〃 7～11……各2,500円
〃12……25,000円
小計75,000円
けいぞく額合計…140,000円
配当・値上り（10%）…14,000円
減税（3%）……4,200円
元利合計…… 158,200円
来年末
15万円 突破！

五千円月賦ならば

今月（33年５月）スタート
33.5…… 5,000円
〃 6……50,000円
〃 7～11…各 5,000円
〃12……50,000円
小計130,000円
34.1～5……各5,000円
〃 6……50,000円
〃 7～11… 各5,000円
〃12……50,000円
小計150,000円
けいぞく額合計…280,000円
配当・値上り（10%）…28,000円
減税（3%）……8,400円
元利合計…… 316,400円
来年末
30万円 突破！

野村証券奈良出張所
奈良市東向北町
電話（奈良）六四五一一四番

常　議　員



谷井友三郎
谷井興業(株)社長



鈴木角一郎
奈良交通(株)社長



下出久治郎
下出商会



淵岡美士磨
関西電力(株)奈良支店長



福田楢蔵
(株)アラナラ商店社長



中嶋伊太郎
(株)玄林堂社長



今西国三郎
(株)天理時報社社長



綿谷仙治郎
(株)呉竹精昇堂取締役会長



宮島善治
奈良宮島産業(株)社長



増田弥内
増田製薬(株)社長



東嘉重郎
大日本真珠核工業(株)
代表取締役



吉川久一
(株)吉川組社長

会議所役員、議員の面影



副会頭　奥村太平
(株)奥村組社長



副会頭　杉本甚七
(株)北辰電機製作所
奈良工場代表者



専務理事　中村貞三
奈良県商工会議所事務局長



会頭　吉川島次
吉川産業(株)社長



副会頭　杉垣新太郎
杉垣木材(株)代表取締役

常議員（選挙区別五十音順）



大森久司
会社重役



秋山利市郎
東和醸造(株)専務取締役



赤坂頼麿
(株)南都銀行頭取



近東義則
共同印刷工業(株)顧問



小山恭二
小山(資)副社長



河合利喜蔵
(株)ひのり商店社長

常議員



安田秀夫
安田ゴム(株)代表取締役



清水富太良
甲陽真珠工業(株)社長



高井明二
高井メリヤス(株)社長



広橋禎治
広橋紡織(名)代表社員



吉川利治
(株)呉服専門はぎや社長



中野利右衛門
中野林業(株)会長

顧問



森下音吉
吉野産業(株)社長



越智岩太郎
日本染織工業(株)社長



西垣愛太郎
西垣林業(株)社長



吉田庄逸
星鶴酒造(株)社長



辻内近三
東亜化成工業(株)社長



前山誠逸
前山厚織工業(株)社長



飯尾冨雄
大日本紡績(株)取締役

監事



中本与嗣久
中本酒造(株)社長



今西清兵衛
(株)今西清兵衛商店社長



平井竜一
(株)平井真美館取締役社長

議員



大森徳兵衛
近畿電気工事(株)奈良支店長



大谷幸治郎
植田蚊帳(株)代表取締役



乾太郎
(名)奈良明新社代表社員



垣内寛一
(株)垣内商会社長



川合松治郎
(資)川合商店代表社員



川井徳蔵
奈良県魚(株)社長



鍵田忠三郎
日本肥鉄土開発(株)社長



菊池武三郎
奈良トヨダ自動車(株)社長



阪口義一
王竜寺ゴルフ(株)常務取締役



今来勝
(名)寿屋代表社員



小山栄三郎
小山(資)社長



阪田宏勇
精軒



宝笹川正雄堂



奈良車体製造(株)社長 須河作治



(株)杉山商店社長 杉山嘉一



(株)竹安商店代表取締役 竹安基



(株)日本勧業銀行奈良支店長 築紫次郎



奈良敷物(株)社長 富田富治



中尾蚊帳本店 中尾政雄



(株)野村証券奈良出張所長 長野隆



(株)奈良大丸社長 並川雅俊



(株)南口商店社長 南口豊治



(株)三栄相互銀行社長 野村萬作



(株)橋本商店代表取締役 橋本蔵治



春田工業(株)社長 春田明次



日本通運(株)奈良支店 久松定秋



平岡紙器工業(株)代表取締役 平岡孝太郎



奈良市信用金庫理事長 藤井佐重郎



(株)天義堂代表取締役 細田義雄



積水化学工業(株)奈良工場長 松尾潤二



(株)あかしや商店社長 水谷嘉六



(株)花月堂社長 三橋作平



(株)象屋吉田商店社長 吉田安信



吉田蚊帳(株)取締役 吉田高治



(株)吉田商店代表取締役 吉田淳一



(株)吉川機械製作所社長 吉川潔



博文堂 草可博央



奈良県竹材工業(株)社長 奥田竜一



(株)伊藤金属製作所社長 伊藤留吉



(株)大和農園社長 吉田修之



森井製麺工場 森井徳吉



オリエント膠工業(株)代表取締役 中村甚一



秋山ボール工業所 秋山豊孝



東棉戸口繊維(株)取締役総務部長 戸口健次郎



細川製薬(株)社長 細川欣勇



高橋機械工具店 高橋正治



岡村印刷工業(株)社長 岡村源太郎



畝傍メリヤス(株)社長 犬丸惣嗣



速水合成卸工場 速水庄司



(有)三晃莫大小代表取締役 奥本忠一



岡本織布(株)代表取締役 岡本清作



くにみ毛糸(有)代表取締役 岩名幸三



広田義雄
和洋織物(株)社長



広瀬祥二
大日本紡績(株)高田工場長



広芝義賢
広芝薬局



北岡茂
(株)北岡本店社長



森幸造
日本アスベスト(株)王寺工場長



飯田圭三
飯田メリヤス(株)監査役



森栄太郎
(株)森組社長



山下長次
山長木工具製作所



北山藤一郎
奈良県製薬協同組合理事長



新城奈良一
大和物産(株)社長



山本隆一
(株)山本本家社長



桶谷辰次郎
吉野桶辰林業(株)社長



梶島萬太郎
梶島組



勝村正一
榛原石材(株)社長

顧問

奈良県知事	奥田良三
奈良県会議長	森下音吉
奈良県市長会会長	高椋正次
奈良県町村長会会長	池田栄三郎
近畿日本鉄道(株)社長	佐伯勇
日本染織工業(株)社長	越智岩太郎(元会頭)
大日本紡績(株)取締役	飯尾冨雄(元副会頭)
星鶴酒造(株)社長	吉田庄逸(元副会頭)
東亜化成工業(株)代表取締役	辻内近三(元副会頭)

参与

奈良県経済部長	柏木宏二
奈良県商工課長	井谷千彦
奈良県観光課長	吉田菅二
奈良県商工観光館長	近山正実
奈良県税務署長	小林真治
奈良労働基準局長	永井松雄
西垣林業(株)社長	西垣愛太郎(元副会頭)
前山厚織工業(株)社長	前山誠逸(前副会頭)

◉会議所役員、議員一覧表

（常議員以下は地区別五十音順）

○会頭

吉川島次	71	吉川産業(株)社長　奈良市肘塚町

○副会頭

杉本甚七	67	(株)北辰電機製作所奈良工場代表者　〃　南京終町
奥村太平	78	(株)奥村組社長　北葛城郡香芝町逢坂
杉垣新太郎	57	杉垣木材(株)代表取締役　桜井市桜井

○専務理事

中村貞三	53	奈良県商工会議所事務局長　奈良市東向中町

○常議員

赤坂頼磨	55	(株)南都銀行頭取　奈良市橋本町
秋山利市郎	56	東和醸造(株)専務取締役　〃　三条今井町
大森久司	57	会社重役　〃　今辻子町
河合利喜蔵	62	(株)ひのり商店社長　〃　今小路町
小山恭二	54	小山(資)副社長　〃　三条町
近東義則	73	共同印刷工業(株)顧問　〃　西寺林町
下出久治郎	64	下出商会　〃　北京終町
鈴木角一郎	66	奈良交通(株)社長　〃　油阪町
谷井友三郎	57	谷井興業(株)社長　〃　角振町
中嶋伊太郎	55	(株)玄林堂社長　奈良市高天町
福田楢蔵	61	(株)アラナラ商店社長　〃　餅飯殿町
淵岡美士磨	53	関西電力(株)奈良支店長　〃　大森町
宮島善治	51	奈良宮島産業(株)社長　〃　下御門町
錦谷仙治郎	63	(株)呉竹精昇堂取締役会長　〃　法蓮町
今西国三郎	64	(株)天理時報社取締役社長　天理市川原城
吉川久一	53	(株)吉川組社長　大和郡山市高田口
東嘉重郎	58	大日本真珠核工業(株)代表取締役　桜井市桜井
増田弥内	62	増田製薬(株)社長　原橿市
安田秀夫	51	安田ゴム(株)代表取締役　〃　今井
清水富太良	61	甲陽真珠工業(株)社長　北葛城郡当麻村当麻
高井明二	49	高井メリヤス(株)社長　大和高田市出
広橋禎治	58	広橋紡織(名)代表社員　北葛城郡広陵町
吉川利治	56	(株)呉服専門はぎや社長　大和高田市本町四丁目
中野利右衛門	66	中野林業(株)会長　御所市東名柄
森下音吉	60	吉野産業(株)社長　吉野郡大淀町桧垣本

○監事

今西清兵衛	57	(株)今西清兵衛商店社長　奈良市福智院町
中本与嗣久	51	中本酒造(株)社長　生駒郡生駒町上
平井竜一	50	(株)平井真美館取締役社長　奈良市西木辻町

○議員

第一地区　奈良市　（五十四名）

赤坂頼磨	55	(株)南都銀行頭取　奈良市橋本町

秋山利市郎	56	東和醸造(株)専務取締役	奈良市三条今井町	前	三
乾　太郎	53	(名)奈良明新社代表社員	橋本町	〃	二
今西清兵衛	57	(株)今西清兵衛商店社長	福智院町	前	一
大谷幸治郎	64	植田蚊帳(株)代表取締役	肘塚町	新	一
大森　久司	57	会　社　重　役	今辻子町	前	三
大森徳兵衛	52	近畿電気工事(株)奈良支店長	今辻子町	新	二
越智岩太郎	69	日本染織工業(株)社長	油阪町	前	三
垣内　寛一	57	(株)垣内商会社長	油阪町	前	一
鍵田忠三郎	36	日本肥鉄土開発(株)社長	北御門町	新	二
川井　徳蔵	43	奈良県魚(株)社長	三条川崎町	新	一
川合松治郎	68	(資)川合商店代表社員	中辻町	前	一
河合利喜蔵	62	(株)ひのり商店社長	今小路町	前	二
菊池武三郎	63	奈良トヨダ自動車(株)社長	杉ケ町	前	二
小山栄三郎	53	小　山(資)　社　長	三条町	前	三
小山　恭二	54	小　山(資)　副　社　長	三条町	前	一
近東　義則	73	共同印刷工業(株)顧問	西寺林町	前	二
今来　勝	56	(名)寿屋代表社員	東向南町	前	一
阪口　義一	54	王竜寺ゴルフ(株)常務取締役	東寺林町	新	一
阪田　勇	62	精　宏　軒	三条川崎町	前	一
笹川　正雄	62	宝　文　堂	林小路町	前	一
下出久治郎	64	下　出　商　会	北京終町	前	二
須河　作治	56	奈良車体製造(株)社長	油阪町	前	一
杉本　甚七	67	(株)北辰電機製作所奈良工場代表者	南京終町	前	三
杉山　嘉一	44	(株)杉山商店社長	鵲町	前	二
鈴木角一郎	66	奈良交通(株)社長	油阪町	前	三
竹安　基	56	(株)竹安商店代表取締役	川ノ上突抜南方	前	一
谷井友三郎	57	谷井興業(株)社長	角振町	前	二
筑紫　次郎	46	(株)日本勧業銀行奈良支店長	上三条町	新	二
富田　富治	56	奈良敷物(株)社長	山陵町	前	一
中尾　政雄	56	中尾蚊帳本店(株)玄林堂社長	川ノ上突抜町	前	一
中嶋伊太郎	55	〃	高天町	前	一

第二地区　天理市、添上郡、山辺郡　（二　名）

今西国三郎	64	(株)天理時報社取締役社長	天理市川原城	前	一
吉田　修之	36	(株)大和農園社長	〃　平等坊	新	一

第三地区　大和郡山市、生駒郡　（五　名）

伊藤　留吉	53	(株)伊藤金属製作所社長	大和郡山市紺屋町	前	一
奥田　竜一	60	奈良県竹材工業(株)社長	生駒郡生駒町高山	前	二
草可　博央	49	博　文　堂	大和郡山市柳町	前	一
長野　隆	36	(株)野村証券奈良出張所長	〃　東向北町	前	二
並川　雅俊	42	(株)奈良大丸社長	〃　東向南町	前	一
南口　豊治	56	(株)南口商会社長	〃　餅飯殿町	前	二
野村　万作	59	(株)三栄相互銀行社長	〃　下三条町	前	二
橋本　蔵治	68	(株)橋本商店代表取締役	〃　橋本町	前	二
春田　明次	45	春田工業(株)社長	〃　般若寺町	前	一
久松　定秋	53	日本通運(株)奈良支店長	〃　油阪町	前	二
平岡孝太郎	65	平岡紙器工業(株)代表取締役	〃　井上町	前	二
福田　楢蔵	61	(株)アラナラ商店社長	〃　餅飯殿町	前	二
藤井佐重郎	65	奈良市信用金庫理事長	〃　光明院町	新	二
淵岡美士磨	53	関西電力(株)奈良支店長	〃　大森町	前	三
細田　義雄	56	(株)天義堂代表取締役	〃　東向中町	前	一
松尾　潤二	44	積水化学工業(株)奈良工場長	〃　横領町	前	三
水谷　嘉六	50	(株)あかしや商店社長	〃　餅飯殿町	新	二
三橋　作平	61	(株)花月堂社長	〃　餅飯殿町	前	一
宮島　善治	51	奈良宮島産業(株)社長	〃　下御門町	前	二
吉川　潔	57	(株)吉川機械製作所社長	〃　佐紀町	新	一
吉川　島次	71	吉川産業(株)社長	〃　肘塚町	前	二
吉田　淳一	36	(株)吉田商店代表取締役	〃　南魚屋町	前	一
吉田　高治	60	吉田蚊帳(株)取締役	〃　芝新屋町	前	一
吉田　安信	28	(株)象屋吉田商店社長	〃　餅飯殿町	新	一
綿谷仙治郎	63	(株)呉竹精昇堂取締役会長	〃　法蓮町	前	一

戸口健次郎	37	東棉戸口繊維(株)取締役総務部長	大和郡山市東高田	前	一
吉川　久一	53	(株)吉川組社長	〃　高田口	前	一

第四地区　桜井市、磯城郡　（六　名）

秋山　豊孝	61	秋山ポール工業所	桜井市慈恩寺	前	二
東　嘉重郎	58	大日本真珠核工業(株)代表取締役	〃　桜井	元	一
杉垣新太郎	57	杉垣木材(株)代表取締役	〃　桜井	新	一
中村　甚一	55	オリエント膠工業(株)代表取締役	磯城郡川西村梅戸	新	一
西垣愛太郎	63	西垣林業(株)社長	桜井市戒重	前	三
森井　徳吉	48	森井製麺工場	〃　河西	前	一

第五地区　橿原市、高市郡　（六　名）

犬丸　惣嗣	55	畝傍メリヤス(株)社長	橿原市御陵前	元	二
岡村源太郎	62	岡村印刷工業(株)社長	高市郡高取町車木	前	一
高橋　正治	41	高橋機械工具店	橿原市八木町	新	一
細川　欣勇	61	細川製薬(株)社長	〃　今井	前	一
増田　弥内	62	増田製薬(株)社長	〃　川西	前	三
安田　秀夫	51	安田ゴム(株)代表取締役	〃　今井	前	二

第六地区　大和高田市、北葛城郡　（十三名）

岩名　幸三	44	くにみ毛糸(有)代表取締役	大和高田市天神橋筋	新	一
岡本　清作	55	岡本織布(株)代表取締役	北葛城郡広陵町	前	一
奥村　太平	78	(株)奥村組社長	〃　香芝町逢坂	前	三
奥本　忠一	49	(有)三晃莫大小代表取締役	当麻村	新	一
清水富太良	61	甲陽真珠工業(株)社長	〃　当麻村当麻	前	一
高井　明二	49	高井メリヤス(株)社長	大和高田市出	前	二
速水　庄司	57	速水合成卸工場	〃　松塚	前	一
広田　義雄	57	和洋織物(株)社長	〃　三倉堂	前	二
広瀬　祥二	57	大日本紡績(株)高田工場長	〃　高田	前	三

第七地区　五条市、御所市、宇智郡　（五　名）

飯田　圭三	48	飯田メリヤス(株)監査役	御所市御所	元	一
北山藤一郎	52	奈良県製薬協同組合理事長	〃	前	二
新城奈良一	52	大和物産(株)社長	五条市二見	前	一
中野利右衛門	66	中野林業(株)会長	御所市東名柄	前	二
山本　隆一	54	(株)山本本家社長	五条市五条	新	一
広橋　禎治	58	広橋紡織(名)代表社員	北葛城郡広陵町	前	二
森　幸造	48	日本アスベスト(株)王寺工場長	〃　王寺町	前	三
吉川　利治	56	(株)呉服専門はきや社長	大和高田市本町四丁目	元	一
吉田　庄逸	60	星鶴酒造(株)社長	北葛城郡香芝町穴虫	前	二

第八地区　吉野郡、宇陀郡　（九　名）

桶谷辰次良	52	吉野桶辰林業(株)社長	吉野郡東吉野村	新	二
梶島万太郎	50	梶　島　組	〃　大淀町	新	二
勝村　正一	69	榛原石材(株)社長	宇陀郡榛原町萩原	前	一
北岡　茂	35	(株)北岡本店社長	吉野郡吉野町上市	前	一
広芝　義賢	43	広　芝　薬　局	〃　大淀町	前	二
前山　誠逸	52	前山厚織工業(株)社長	〃　下市町	前	三
森　栄太郎	51	(株)森組社長	〃　大淀町桧垣本	前	一
森下　音吉	60	吉野産業(株)社長	〃　〃　〃	前	一
山下　長次	67	山長木工具製作所	宇陀郡榛原町新吉田	前	二

（備　考）

（株）は株式会社、（資）は合資会社、（名）は合名会社、（有）は有限会社の略号とす。

摘要欄の（前）は前期議員、（新）は新議員、（元）は元議員を、一、二、三の数字は選出区分を示す。

◎初議員総会の概況

役員改選の初議員総会は次の議事録の通り開会せられ茲に各役員の決定を見て新陣容は確定した。（写真は議場）



第十回議員総会議事録

一、日　時　昭和三十三年十月一日午后一時
一、会　場　奈良市東向中町六番地
　　奈良県商工会議所大会議室
一、議員総数及議決権総数
　　議員総数　一〇〇名
　　議決権総数　一〇〇個
一、出席者数及その議決権数
　　出席議員数　八六名
　　内　本人出席　六五名
　　委任出席　二一名
　　議決権数　八六個

議　事

定刻開会

中村専務理事、事務局を代表して当選の祝意を表し兼ねて開会の辞を述ぶ。次いで

吉川会頭　任期中の謝意を述べると共に議員選挙の経過報告をかねて挨拶をなし議長席に着いて出席議員数及び委任出席者数を報告して会議の成立を宣す。

議　長　議事に先だち満場の賛意を得て議事録署名員を次の通り指名す。

綿谷仙治郎君
安田秀夫君

両氏承諾す。

1、昭和三十二年度事業報告及収支決算承認の件

議　長　第一号議案を上程し、事業報告書概要の説明及び収支決算の朗読をかねた説明を致し度き旨を諮る。一同諒承す。依つて

議　長　事務局よりの説明を求む。

中村事務局長　朗読を省略して事業報告に付いては例年と異なる点或は特別な事業等の説明を行い、続いて収支決算の概要を説明する。

尚事業報告並に収支決算に就いては去る九月二日監事会に於て承認を得、九月四日の常議員会に於ても満場一致承認を得た旨附言する。次いで

議　長　監事の監査報告を求む。

宮島監事　去る九月二日、監事全員出席の下に慎重監査致しました処、何れも正規に処理されているので之を承認すべきものと認めた旨報告する。

異議なしの声あり。

河合議員　本決算に異議はないが、特にこの機会に県、市、当所三者で目下推進中の国際観光ホテルの大体の構想でも伺いたいと発言する。

議　長　県、市当局と協力して奈良市に国際観光ホテルを設立したいと考え、先づ計劃の前に正副会頭並奈良市在住の常議員の方々と慎重に御協議の上計劃を推進している。国家の方針として観光収入に重点をおいていることは論をまたないが、特に近畿各都市殊に当奈良市にその設置を慫慂されているので我々

としても研究を重ねているが、何分多額の資金を必要とすることでもあり且つ県市公共団体の協力が絶対必要であるので、心は焦つても余り積極的にはなり得ないが最近漸く目安もついたので将来成案が出来れば各位に相諮り、会議所として推進するか或は会員個人として参加するかを決定したいと思う。尚その他に就いては奈良市議会議長である河合議員が周知の筈であるので補足願えれば幸いであると説明する。

一同発言なし。依つて

議　長　第一号議案の承認と前述の点に就き了承を得たき旨を諮る。

一同異議なく、賛意を表す。依つて

議　長　第一号議案の承認確定の旨を宣す。次いで

議　長　会頭としての残務はこれで一応終了した、任期中目的達成に努力はしたが力及ばず充分な成果を挙げ得なかつたことを詫びると共に各位の絶大なる御支援御協力を謝すと離任の挨拶を述べる。次いで会頭改選のため仮議長を選び議事を進めることとしたいと語る。

東議員「結構と思います、就いてはその仮議長を年長者の近東議員に依頼しては如何」と緊急動議を提出す。

議　長　一同に諮る。一同拍手を以て賛意を表す。

依つて議長退席し、近東議員仮議長として議長席に就く。

近東仮議長　非才にも拘らず年長の故を以て仮議長に選ばれたが、各位の心からなる御協力を得て議題である会頭選任まで仮議長の職を汚したいと挨拶する。

次いで

仮議長　出席者数を報告の後、会頭選出の方法を如何にすべきやを諮る。

東議員　選挙の手数を省いて銓衡委員制をとつては如何

仮議長　東議員の動議に就き賛否を諮る。

一同異議なし。依つて

仮議長　銓衡委員の数及び選出の方法等に就いて東議員の御斡旋を願いたい。

東議員　議長に於いて郡市を勘案して前例にならい、奈良市と郡半々に十名位とし、これに仮議長を加えては如何

仮議長　本動議に異議なきやを諮る。

一同異議なし。依つて

仮議長　左の通り銓衡委員十名を指名し、一同の諒承を求む。

奈良市
　大森久司君、河合利喜蔵君、小山恭二君、下出久治郎君、鈴木角一郎君　計五名
郡部
　吉川久一君、高井明二君、東嘉重郎君、増田弥内君、清水富太良君　計五名

一同異議なく諒承す。依つて

仮議長　銓衡委員の決定を宣し、引続き各銓衡委員は別席にて会頭の銓衡に当られたいと要望する。

各銓衡委員退席、この間

仮議長　暫時休憩を宣す。時に午后二時。

―午后二時四十分再開―

仮議長　仮議長同席の上、慎重審議の結果満場一致前会頭吉川島次氏の三選を決定したき旨を報告し、本決定に異議なき場合は拍手を以て賛意を表せられたしと述ぶ。

―満場拍手―　依つて

仮議長　吉川島次氏の会頭選任の確定を宣す。

次いで

仮議長　議長としての使命を各位の御協力により無事達成したるを以て議長の任務を新会頭に引継ぐ旨を述べ、議長席を退く。

新会頭登壇。場内拍手頻なり。

吉川会頭　会頭三選を謝すると共に巷間伝うる処の会頭必須の三条件の中、暇だけしかないが御期待に添うよう折角努力すると就任の挨拶を述ぶ。

議　長　副会頭選任同意の件及専務理事選任同意の件を一括上程す。

南口議員　商業部会の議員数が多いに拘らず一人の副会頭もないことは我々商業人として誠に心淋しい、この点十分に考慮され度いと要望する。

議　長　御説御尤である。只今の銓衡委員に近東仮議長を加えた各位により銓衡を煩し、その結果により各位の同意を得たき旨一同に諮る。一同異議なし。

銓衡委員一同退席　時に午后三時二十分、この間

議　長　休憩を宣す。

三時三十分再開

議　長　一部に辞意の堅いものがあつたが、慎重に銓衡の結果次の通り決定したと報告する。

副会頭として前副会頭　杉本甚七氏
同　同　奥村太平氏

先刻の御要望もありましたので

商業部門から　杉垣新太郎氏　以上三氏

を副会頭に、専務理事として現専務理事中村貞三氏を選任したい。

―一同拍手を以て賛意を表す―　依つて

議　長　銓衡委員の銓衡の結果に異議なきものと認め、夫々副会頭、専務理事に選任したき旨を諮る。

一同異議なく同意する。　依つて

議　長　副会頭、専務理事は銓衡委員銓衡の通り夫々の選任同意の確定を宣す。次いで

杉本副会頭　会議所の使命益々重大性を加うるの時、会頭を軸として微力を効し度いと述べ、副会頭三名を代表して就任の挨拶をなす。次いで

中村専務理事　重ねての御推挙を謝すると共に心機を新たにして職務に励みたいと述べ、専務理事再任の挨拶をなす。

議　長　第五号及第六号議案常議員及監事選任の件を上程、その選出方法を諮る。

細川議員　銓衡委員による選出もいいが、従来の如く銓衡委員全員が常議員となるが如き自選の恰好は好ましくない、よろしく委員の指名を検討すべきである。

議　長　選出には必ずしも銓衡委員を要しない、他にも方法はあるがその方法如何

細田議員　繁をさけるため議長一任としては如何

細川議員　先刻、銓衡委員の結果発表がおくれているのは常議員の銓衡に着手しているからだと事務局より報告があつた、余りにもお膳立の整いすぎるのもどうかと思うがこの点に就いて釈明願いたい。

議　長　常議員の銓衡云々に就いては全く誤伝である。実際銓衡に際し事務局から参考意見は徴するが事前に決定するが如き事実はない。

広芝議員　議長一任も会議の和かさからいいが前回にも発言した通り余りにも整いすぎた雰囲気を作り、些かでも天下り式であると見られることは民主的ルールから見てよろしくない、その意味から細川議員の動議に賛成する。

南口議員　先刻事務局から銓衡委員の報告遅延の理由として常議員の銓衡をも既に着手している旨の報告があつたからである。

京極参事　先刻の常議員詮衡中との報告は誤りであつたから取消す旨の釈明があり、一同諒承する。

議　長　地区別銓衡の方法もあるが出席者のない地区もあるので一括詮こうの適当な方法なきやを諮る。

中村議員　時間もないので会頭、副会頭に一任しては如何

一同賛成す。依つて

議　長　暫時休憩を宣す。この間会頭、副会頭別席にて常議員及監事銓衡をなす。間もなく再開

議　長　銓衡の結果を次の通り発表する。常議員には

第一地区　奈良市　赤坂頼麿君、秋山利市郎君、大森久司君、河合利喜蔵君、小山恭二君、近東義則君、下出久治郎君、鈴木角一郎君、谷井友三郎君、中嶋伊太郎君、福田楢蔵君、淵岡美士麿君、宮島善治君、綿谷仙治郎君

第二地区　天理市、添上郡、山辺郡　(株)天理時報社代表者

第三地区　大和郡山市、生駒郡　吉川久一君

第四地区　桜井市、磯城郡　東　嘉重郎君

第五地区　橿原市、高市郡　増田弥内君、安田秀夫君

第六地区　大和高田市、北葛城郡　清水富太良君、高井明二君、広橋禎治君、吉川利治君

第七地区　五条市、御所市、宇智郡　中野利右衛門君

第八地区　吉野郡、宇陀郡　森下音吉君

以上二十五名

次に監事は

今西清兵衛君、中本与嗣久君、平井良一君

以上三名

議　長　右銓衡発表に対し異議なきやを諮る。

満場拍手を以て賛意を表す。依つて

議　長　常議員及監事の選任確定を宣す。

議　長　次に顧問、参与委嘱の件を上程、時間の都合上議長指名と致して差支えなきやを諮る。

異議なしの声あり、依つて

議長は次の通り発表する。

顧　問　奈良県知事　奥田良三氏

奈良県議会議長　森下音吉氏

奈良県市長会々長　高椋正次氏

奈良県町村長会々長　池田栄三郎氏

近畿日本鉄道株式会社取締役社長　佐伯勇氏

大日本紡績株式会社取締役　飯尾富雄氏

元会頭　越智岩太郎氏

元副会頭　西垣愛太郎氏

同　吉田庄逸氏

同　辻内近三氏

同　前山誠逸氏

前副会頭　柏木宏二氏

参与　奈良県経済部長　井谷千彦氏

同　商工課長　小林真治氏

奈良税務署長　永井松雄氏

奈良労仂基準局長　吉田嘗二氏

奈良県観光課長　近山正実氏

同　商工観光館長

近東議員　只今御発表の森下氏は常議員と重復すると思われるが如何

議　長　森下顧問は県議会議長としての顧問委嘱で形式上一応名前を申上げたのであつて役転に対する委嘱である。

―近東議員諒承す―

東議員　顧問、参与の委嘱には別段異議はありません。尚この機会に一言申上げたいと述べ、過日県より東南ア方面に視察団派遣に際し会議所としての壮行会或は帰国後の歓迎会等何らかの形の接触をもつべきではないか。

議　長　御出発に際し些か御挨拶を申上げてある。

東議員　会議所全体として意見の交換或は会談等により一般会員にもその御土産を得しむべきでないか。

議　長　今後、各副会頭と相談して適当に処理したい。

議　長　その他異議なきやを諮る。

一同異議なし。依つて

議　長　顧問、参与を前述の通り委嘱すべきことを決定す。

議　長　議事一切の終了を告ぐると共に再び重責に選ばれたことを謝し併せて今後の支援を要望して閉会となす。

時に午后四時

○議員選挙選任の概況

今回の選挙は規約に依る選挙委員会第一回を八月十一日に開会したるに初り九月十六日を以て終了した、茲に委員会の選挙録を掲載して経過を明かにする。

第三期議員選挙委員会選挙録

一、第一回委員会

昭和三十三年八月十一日午前十一時開会、正午閉会

奈良県商工会議所役員室に於て

1　出席委員

中村委員長

安田秀夫、戸口健次郎、垣内寛一、大橋重雄　以上委員

(会議所側)吉川会頭、京極参事

2　会議の概況

中村委員長より第二期議員は来る九月三十日を以て任期満了につき第三期議員選挙の概要につき大要の説明あり、京極参事より

一、選挙要綱を発行したこと

二、選挙人名簿を調整し関係者の閲覧に供したこと（人名簿を各委員に回覧す）

三、二号議員選任につき部会開会のこと

四、三号議員は会頭が推せんして常議員会の同意を要すること

五、其他選挙規約に基き全般的に説明をなし

六、一号議員投票に入つた場合について

中村委員長より投票を要する場合は立会人を別に定めず委員に依つて兼務願い度ことを一同に諮りたるに全員了承。

最後に会頭の挨拶ありて終了する。

一、第二回委員会

昭和三十三年九月十六日午前十一時五分開会、同四十分閉会

奈良県商工会議所役員室に於て

1　出席委員

中村委員長、戸口健次郎

(会議所側)吉川会頭、京極参事

2　会議の概況

中村委員長より大要の説明あり、京極参事より先ず三号議員につき会頭推せんは九月四日常議員会の同意を得たること、二号議員は八月十四日より交通運輸部会を最初として二十五日の筆墨部会を最後に三十五名の選任を終了し、一号議員は九月一日より立候補の受付を開始し十日を以て締切り、各地区共定員一ばいにて終了し選挙規約に依る期日内の辞退届も無い旨説明する。

中村委員長は規約に基き本日を以て無投票当選となる旨を説明し他の委員了承する。

尚本日は委員中欠席者多数ありたるを以て書面にて了承願うこととして閉会する。

◎会議所一ケ年の歩み（事業報告と決算）

昭和三十二年度のわが国経済は前年度の投資拡大を中心とした輸入増大よりくる外貨事情の悪化に伴い、公定割歩合の引上げを初めとして財政投融資の繰延べ等一連の金融引締の総合政策がとられるに至つた。

翻つて関西経済の有力なる担い手たる奈良県産業も、こうした一般情勢は投資景気の好況から一転引締段階に入るや中小企業のもつ経済構造性の縮命的な弱さにより深刻な影響を受けた苦難の年であつたといわねばならない。

本所としては右のような経済情勢の推移に即応して建議活動においても、日本商工会議所と緊密なる連繋のもとに本県各業界の輿論を結集して関係当局へ建議すると共に一方近畿観光圏の推進及び見本市開催の外各種の講演会、講習会、説明会、商工相談指導等を活発化し殊に中小企業団体法の広報活動を強化し、広く本県商工業の振興発展と企業経営の改善に寄与した。

本年度の具体的事業概況を次に述べてみよう。

一、事業活動報告

(一) 意見活動

(1) 部会委員会の動き

○商業部会小売分科会

九月九日午後二時開会　午後五時三十分閉会
吉川会頭、中村専務理事、橋本分科会長外三十名出席

議件
1　第二回全国商店サービス強化運動実施について

○工業第一部会

七月二十六日尼ヶ崎発電所及び朝日ビール吹田工場見学会を開催
当日尼ヶ崎発電所会議室に於いて欠員中の部会長選任の件につき上程　種々協議の結果次の通り選任された
工業第一部会長　淵岡美士磨氏

○交通運輸部会（観光部会との合同）

五月三十日午後二時開会　午後四時閉会
吉川会頭、中村専務理事、鈴木部会長外三十二名出席

議件
1　観光五ヶ年計画と国鉄奈良駅前整備問題について

○理財部会

十月二十一日午後一時開会　午後三時閉会
吉川会頭、中村専務理事、赤坂部会長外二十七名出席

議件
1　年末金融事情について

○観光部会（交通運輸部会と合同）

五月三十日午後二時開会　午後四時閉会
吉川会頭、中村専務理事、阪田副部会長外三十二名出席

議件
1　観光五ヶ年計画と国鉄奈良駅前整備問題について

○筆墨部会

（第一回）五月六日午後一時開会　午後三時三十分閉会
吉川会長、中村専務理事、中島部会長外十一名出席

議件
1　各事業場に於ける就業規則について

（第二回）七月三日午後一時開会　午後四時閉会
吉川会頭、中島部会長外十四名出席

議件
1　第九回中小企業輸出展の出品について

（第三回）九月四日午後一時開会　午後四時閉会
吉川会頭、中村専務理事、中島部会長外十四名出席

議件
1　観光土産品連盟加入について

（第四回）十月五日午後二時開会　午後四時閉会
中村専務理事、中島部会長外九名出席

議件
1　休業中の労仂行為等について

○理財部会損保分科会

第一回分科会　四月十日午後一時より四時まで
飯田氏外十名出席　五月リクレーションの件その他を審議
第二回分科会　六月十二日午後二時半より四時半まで
藤本氏外十一名出席　五月リクレーション決算報告その他
第三回分科会　七月十日午後一時より四時まで
芦田氏外九名出席　定例連絡事項を審議
第四回分科会　九月十一日午後三時より四時まで
浅利氏外十名出席　定例打合せ事項を審議
第五回分科会　十月二十一日午後一時より三時半まで
井沢氏外十一名出席　関西損保県支部総会開催の件等を審議
第六回分科会　一月八日午後一時より三時まで
糸村氏外十名出席　年末年始連絡事項を審議
第七回分科会　二月十二日午後一時半より二時半まで
倭氏外十名出席　本年度事業計画等を審議
第八回分科会　三月四日午後一時より三時まで
松田氏外十名出席　定例連絡事項等審議

○正副部会長連合会議

一月十六日午後一時開会　午後五時閉会
吉川会頭、中村専務理事、各正副部会長二十五名出席

議件
1　中小企業団体法の説明
2　工場見学会部会定例日の件
3　卓話「今年の経済の見透し」
産経最高顧問　塩沢元次氏

○労仂委員会

第一回委員会
八月三十日午前十一時開会　午後〇時三十分閉会
吉川会頭、中村専務理事、中村委員長外九名出席

議件

1　山中鋳鋼所問題について

第二回委員会
九月二日午前十時開会　午後一時閉会
吉川会頭、中村専務理事、中村委員長外八名出席

議件
1　山中鋳鋼所問題について

第三回委員会
十一月二十八日午前十時開会　午後〇時三十分閉会
吉川会頭、中村専務理事外六名出席

議件
1　日商諮問の「最低賃金法要綱試案」に関する意見について

○税務委員会
九月十七日午後二時開会　午後四時閉会
吉川会頭、中村専務理事、近東委員長外三名出席

議件
1　日商諮問の「青色申告制度」改正に関する意見について

(2) 建議陳情請願

○交通運輸部会関係

一、吉野総合開発工事と道路使用について
（六月二日吉川会頭名を以て電源開発㈱十津川建設事務所長宛文書提出）
懇請要旨
1　吉野総合開発工事の進捗に伴う道路の一般自動車運行については僻地唯一の絶対性により特に第一線現場の理解を懇請

○議員総会関係

一、年末金融対策についての要望
（議員総会の決議により十月二十八日吉川会頭名を以て県銀行協会長、県信用金庫協会長、県二水会長（相互銀行）宛文書を以て提出）
要望要旨
1　金融引締下の年末需要期に際しては本県産業の特性に副つた弾力性ある融資と特に受取手形の割引については優良企業育成の上に立つて考慮せられたい。

○議員総会関係

一、近畿日本鉄道奈良駅及び油阪駅の整備拡張に関する要望
（議員総会の決議により三月十四日吉川会頭名にて近鉄社長宛文書を以て提出）
要望要旨
1　近畿観光圏の動きと相まつて両駅の近代化を要望

○交通運輸部会関係

一、二級国道一六九号線伯母峰峠附近における道路整備並びに自動車待避所設置方要望について
（三月十五日吉川会頭、鈴木部会長名を以て県知事、県土木部長宛文書提出）
要望要旨
1　同線上多古ーわさび谷間における狭隘且つ急屈箇所七ケ所の道路拡張と待避所二ケ所の設定方要望

(二) 研究情報交換活動

○懇談会、講習会、講演会、懇話会

本年度当所の主催する各種懇談会、講習会、講演会、研究会及び主なる会議は次の通りである。

○融資懇談会

・とき　四月九日　　ところ　当所ホール
懇談する人
中小企業金融公庫　奈良支所長　山崎　稔
会議所　吉川会頭、中村専務理事
会　員　三十二名

○簿記税法長期講習会

・とき　五月十五日～七月四日迄（毎週月・木曜日）十六回
ところ　大和高田市　中和労仂会館二階
科目と講師
簿記と会計　元大阪商大教授　町野二郎氏
奈良短期大学教授
改正国税の実務　葛城税務署直税課長　村岡道久氏
同　法人係長　生田譲三氏

○生産性向上ゼミナール

・とき　六月三日～六月四日（二日間）　ところ　信貴山上玉蔵院本堂
講師と演題
「企業診断から見た奈良県産業」
県商工課技師
（中小企業診断員）　守谷健一氏
「国際情勢と景気の動き」
産業経済新聞社　最高顧問　塩沢元次氏
「販売経路の決定のしかた」
K・K明治機械製作所　専務取締役　大下三雄氏
「現代の世相に思う」
玉蔵院院主　野沢密全氏
「利益管理について」
神戸商大教授　阪本安一氏
「企業と人間関係について」

日本H・R協会専務　山田　宏氏
（中小企業診断員）

○計算尺使い方講習会
・とき　六月十八日～六月十九日迄（二日間）　ところ　当所三階ホール
講師　日本商工会議所計算尺技術委員　島津純治氏
程度　初級及び中級

○阪神財界人との懇談会
・とき　六月八日　ところ　東大寺本坊
来賓　関　桂三氏外十二名
当所側　吉川会頭他二十名

○総評との労使懇談会
・とき　六月十三日　ところ　当所ホール
第二十五回出席者
総評側　森事務局長外八名
会議所側　赤坂委員他八名
オブザーバー　労政課長
・とき　十一月二十八日　ところ　当所ホール
第二十六回出席者
総評側　森事務局長外七名
会議所側　赤坂委員他六名

○金融問題講演会
・とき　七月八日　ところ　当所ホール
演題と講師
「最近の金融情勢について」
日銀大阪支店長　三森良二郎氏

○講演会
・とき　七月十五日　ところ　当所ホール
演題と講師
「新しい人間関係について」
日本H・R協会専務　山田　宏氏

○実用謄写技術講習会
・とき　七月十六日　ところ　当所ホール
内容と講師
理論及び実際について
大阪謄写芸術院　中条慶一氏

○関西中小企業マネージメント視察報告会
・とき　九月二十日　ところ　当所ホール
演題と報告者
「アメリカ経済と開拓者精神」
生産性関西地方本部事務局長　野田新一氏
「アメリカの中小企業経営」
三洋油脂工業(株)社長　吉村正則氏
「アメリカの労仂事情」
原田商事(株)社長　原田誠一氏

○中小企業問題監督者大会
・とき　十月四日　ところ　当所ホール
講師と演題「中小企業と経営者の在り方」
奈良交通(株)専務取締役　田中有道氏
「中小企業と訓練関係について」（パネルデスカッション方式）
講師　モデレーター　宮崎昭氏
使用者側　木村浩三氏
従業員側　大宮成元氏
官庁側　松村博司氏
トレーナー側　加藤俊次氏

○商店主婦講座
・とき　十月十一日　ところ　当所ホール
演題と講師
「商店経営についての主婦の立場」
大阪市嘱託　藤本康之祐氏
藤本販売推進研究所長

○商店従業員講座
・とき　十月二十一日　ところ　田原本公民館
講師　京都能率協会常務理事　水野鉄蔵氏
・とき　十月二十二日　ところ　大和郡山市信用金庫ホール
講師　右に同じ
・とき　十月二十三日　ところ　桜井市警防会館
講師　右に同じ

○昭和三十二年度工業技術講習会
・とき　十一月八日　ところ　当所ホール
演題と講師
染料の改良進歩　住友化学　小池栄二氏
繊維の加工　京大化研　辻　和一郎氏
微生物の工業　協和醗酵　川崎京市氏
欧米のプラスチックを見て　積水化学　仲森　清氏

○CCS経営法紹介講座
・とき　十一月十三日～十一月十四日（二日間）　ところ　当所ホール
講師　大阪府能率学院　副学院長　井上好一氏

○帳票管理講習会
・とき　十一月二十一日　ところ　当所ホール
内容と講師
帳票制度の合理化と改善
日本経営能率研究所　坂井恒雄氏

○商店経営講習会
・とき　十一月二十六日　ところ　当所ホール
内容と講師
お客のサービスについて
京都能率協会専務理事　水野鉄蔵氏

○中小企業団体法説明会
・とき　十二月十六日　ところ　桜井木材協同組合ホール
・とき　十二月十九日　ところ　高田市県税事務所
・とき　十二月二十日　ところ　大淀町農業協同組合
・とき　十二月二十一日　ところ　当所ホール

○経済講演会
・とき　一月十六日　ところ　当所ホール
演題と講師
「今年の経済の見透しについて」
産業経済新聞社最高顧問　塩沢元次氏

○工業経営ゼミナール
・とき　二月六日　ところ　当所ホール
講習課目と講師
「これからの景気はどうなるか」
日本経済新聞社　経済部次長
大阪支社　元ニューヨーク支局長　森田　康氏
「中小企業の新しい経営管理について」
大阪府立産業能率研究所長　村本福松氏
大阪市大名誉教授

○中小企業団体法説明会
・とき　三月二十二日　ところ　奈良県菓子卸商組合
講師　当所総務課長　京極信太郎

(ロ) 調査活動

(1) 物価調査
奈良市内を中心とした小売物価調査を日本商工会議所にて定められた毎月十五日を基準として一〇〇品目を調査し関係筋等に発表。

(2) 中小企業動向調査
本県メリヤス靴下業界について日本商工会議所により定められたる様式により四半期毎に調査を実施した。

(3) 金融動向調査
本県産業界に於ける金繰状況、金融引締に対する影響について調査した。

(4) 割賦販売調査
割賦販売の実情についての調査を実施した。

(5) 中小企業団体組織法に関する調査
業界毎にその組織情況又団体法に対するアンケートを求めその移行についての調査を実施した。

(6) 奈良県工業立地調査

(7) テクニカルツーリズム（産業観光）に関する調査
本県主要事業場を対象としてその施設等について調査を実施した。

(ハ) 商工業振興観光事業等の活動

(1) 四月十七日奈良公園の夜間照明その他観光対策について関係商店街代表と懇談会を開催。

(2) 六月十日於商工館　第五回商品包装紙とチラシのコンクールを後援し会頭賞を授与した。

(3) 六月十日於商工観光館　第四回新作工芸品と図案展覧会を後援し会頭賞を授与した。

(4) 六月十八日土産品の品質を向上するため観光土産品連盟設立懇談会を開催、九月二日奈良県観光土産品連盟を設置した。

(5) 九月二十四日より二十九日まで東京で開かれた第九回中小企業輸出振興展について奈良県物産の展示の斡旋に県と共に協力した。

(6) 「大和の古文化を語る会」県外出張宣伝実施につき当所も観光事業として参劃した。

(7) 十月七日、十月九日の両日に渡り奈良市街整備についての街路燈懇談会を当所にて開催。

(8) 十月七日於商工観光館　第十四回児童生徒教職員発明工夫展を後援し会頭賞を授与した。

(9) 十二月三日から八日まで新潟市小林百貨店に於いて奈良観光と土産品展示会を県と共催で開催した。

(10) 十二月二十六日京都市役所で開催された近畿観光圏懇談会に吉川会頭、中村専務理事出席。

(11) 二月一日大和タイムス社「有名専門店会総会」に於いて広告コンクール入賞者に会頭賞を授与した。

(12) 三月二十二日奈良県菓子卸商組合総会に中小企業団体法について京極参事講演した。

(13) 二月二十六、二十七日福岡市に於いて奈良県特産宣伝見本市を県と共催した。

(14) その他各地で行われる展示会、即売会に業者の出品の斡旋に務めた。

(15) 四月一日より二十日まで開催される県産品声価向上運動桜まつり大売出しの打合せ会を三月二十二日開催、着々その準備を進めた。

(16) 優良土産品の育成を目的として第二回新観光土産品の募集を行い二月二十六日審査会を開催、三月二十九日入選者表彰式を挙行した。
入選作次の通り
推奨一刀彫鹿（中）佳作銘々皿他四点

(17) 第四回優良従業員表彰
自己の職責に甘んじ下積のままもくもくと仂いている優良なる従業員を表彰はべく各事業所よりの推せんをつのり二月十一日審査委員会を開催した（表彰す次年度）

(18) 県内買物運動の推進と商店サービスの強化
「県内買物運動」を推進するため前年より引続き「全国商店サービス強化運動」を県内買物運動の内面的なものとして取り上げ、専ら商業者の経営近代化を促進すべく実施した。
1 全国商店サービス強化運動標語「サービスは売る前売る時売ってから」等のビラを各商店に一組（五種）を配布し、正しい販売方法の励行推進に務めた。
2 商業スライド巡回映写
通産省、日本商工会議所共同製作のスライドを県下六市を中心に各地商工会より希望を取纏め十月十八日より十一月十一日までの間に巡回上映し商店主、店員に正しいサービス方法、経営の合理化、店舗の装飾等についての合理化を推進した。
3 商店経営の使命の自覚、消費者に対するサービスの向上等近代商店経営上必要なる各種の講習会、講演会、懇談会を主催した。
(1) 正札経営の研究座談会
とき 十月三日 ところ 当所二階ホール 出席者 二十四名
(2) 商店従業員講座の実施
(3) 商店主婦講座の実施
(4) 商店街及び商店サービスコンクールの実施
第一次 七月二十一日～七月二十二日までの二日間
第二次 八月二十一日～八月二十二日、県商店街連盟との共催により対象商店三十店を巡回、実施審査をなし九月十日総合審査に於て商店街及び商店の奈良県一を決定した。
決定次の通り
商店街（一）大和高田市天神橋筋商盛会（通商産業大臣賞）
商店（三）第一位 ミス洋服商会（日本商工会議所会頭賞）
第二位 ほていや履物店（〃 〃）
第三位 七五三ストアー（〃 〃）

4 販売技術の近代化を推進するため正札会の育成強化を計つた。
四月十八日正札会結成総会を開催し、奈良県正札会を設置した。

(五) 商工相談、取引斡旋及各種証明

現下の経済事情に対処し、中小企業者の最も手近な相談相手としての役割を果して来た当所商工相談所では本年度より更に次の通り専門員の陣容を強化し、一般商工業者の側面的援助指導に力めた。

一、専門相談員一覧

相談日	相談部門	専門相談員
毎日	金融相談	奈良県信用保証協会専務理事 小山繁二
毎月第三木曜日午后一時	特許、実用新案商標相談	弁理士 篤田博史
毎月第二、第四火曜日午后一時	法律相談	弁護士 上辻敏夫
毎週火、木、土午后一時	税、経理、相談	計、税理士 大橋重雄
毎日	労仂相談	奈良県商工会議所労仂委員長 中村絹次郎
毎週水曜日	国税苦情相談	大阪国税局協議団奈良支部長 平岡喜志雄

二、相談状況

1 相談内容以下（ ）内数字は件数を示す

法規（七〇）	資材（四五）	金融（一五〇）	一級	四級	六九五人
税務（七二）	経理（七九）	経営（六六）	二級	五級	七四二人
労仂（四四）	技術（一三）	特許（三六）	三級	六級	九四四人
意匠（六九）	貿易（三四）	取引（一、九一八）	準一級	七級	一、〇六四人
その他（六二四）			準二級	八級	七六六人
合計（三、二一〇）			準三級		

(六) 実務技術向上活動

1 珠算能力検定試験

本年度受検者数は左表の通りである

一級	一九八人	四級
二級	六四七人	五級
三級	一、九八九人	六級
準一級	四九人	七級
準二級	二五四人	八級
準三級	七三四人	

2 珠算競技大会
1 第十一回国民珠算競技大会奈良地区予選
昭和三十二年四月二十一日（日）奈良県商工会議所主催
参加者 二五名
入賞者 一般の部個人 杉田健二、山下末広、木村秀夫
学生の部個人 近藤慶錫、中川一郎、中川伝
全国大会出場資格取得者
一般の部 杉田健二、山下末広、木村秀夫
学生の部 近藤慶錫、中川一郎、中川伝
決定次の通り
商店街（一）大和高田市天神橋筋商盛会（通商産業大臣賞）
商店（三）第一位 ミス洋服商会（日本商工会議所会頭賞）
第二位 ほていや履物店（〃 〃）
第三位 七五三ストアー（〃 〃）

2 第七回県下珠算競技大会
昭和三十二年九月十五日（日）
奈良県商工会議所
奈良県珠算協会 主催
第一部（一般及高校生） 参加者 一二七名
入賞
日商会頭杯 団体優勝 高田高等学校
会議所会頭杯 団体準優勝 丹波市珠算学校
知事杯 個人優勝 杉田健二（正修珠算塾）
第二部（中学生）
入賞
豊橋佐藤珠算学校杯 団体優勝 奈良珠算学校
町村議長会々長杯 団体準優勝 葛城珠算学校
県会議長杯 個人優勝 神谷光久
第三部（小学生）
入賞
県珠算協会長優勝旗 団体優勝 若草珠算塾
町村長会々長杯 団体準優勝 奈良珠算学校
橿原市議長杯 個人優勝 上垣喜美

3 簿記検定試験
1 第六回簿記検定試験 昭和三十二年六月九日（日）施行

初級受験者	二二名	合格者	一名 合格率 五%
中級〃	八名	〃	一名 〃 一三%
上級〃	七名	〃	ナシ 〃 〇%

2 第七回簿記検定試験

初級受験者	一七名	合格者	一〇名 合格率 五八%
中級〃	一五名	〃	三名 〃 二〇%
上級〃	七名	〃	一名 〃 一四%

4 第五回簿記税法長期講習会
企業経営の基礎は完全なる経理、完全なる帳簿があつてこそ、その万全を期することが出来る、この見地より次の通り講習会を開催した、参加者六五名終始熱心に聴講され多大の成果を収め得た。
○とき 昭和三十二年五月十五日～七月六日迄（毎週水、土曜日）
○ところ 大和高田市八幡筋 中和労仂会館講堂
○講師 簿記 元大阪商大教授 町野二郎氏
奈良短期大学教授
所得税 葛城税務署直税課長 村岡道久氏
法人税 葛城税務所法人係長 生田譲三氏

5 第四回計算尺講習会
商工業の振興に、事務能率の増進に、日常生活に、益々広く活用されている計算尺の正しい使い方について次の通り講習会を開催した。
○とき 昭和三十二年六月十八日、十九日の両日
○ところ 当所三階小ホール
○参加者 二五名
○講師 日商計算尺技術委員 島津純治氏
○程度 初級（中級を加味したるもの）

6 珠算振興懇談会
我が国特有の計算技術である「そろばん」の振興を図る県下珠算人を招いて次の通り珠算懇談会を開催、隔意のない意見の交換を図つた。
○とき 昭和三十二年六月三十日（日）
○ところ 当所二階ホール
○参加者 三五名

(七) 連絡会議

共通の問題について開催される他府県商工会議所関係及び関係官庁各種団体との連絡会議に次の通り夫々関係者が出席した。

(1) 会議所関係
日本商工会議所、近畿商工会議所連合会等の各種会合五十数回

(2) 其他
各種団体の会合五十数回

(ハ) **広報活動**

(1) 経済関係図書を随時購入して会員その他一般商工業者の閲覧に供した。

(2) (1) 昭和三十二年度版「会員及び特定商工業者名簿」を刊行して関係先（県内及全国）へ頒布し本県商工業者の紹介宣伝に資した。

(3) 機関雑誌「商工だより」を各季に発刊して会員その他関係先へ配本した。

(4) 会議所情報を毎月一回発刊全会員その他関係先に頒布した。

(5) 郷土新聞二社に毎月一回「会議所だより」の特版をもうけ一般に広報をなした。

二　運　営　報　告

(一) 運営機関の活動

(1) 議員総会

本年度に於ける議員総会を開会したる事二回其の要領は左の通りである。

○第八回

日　時　昭和三十二年十月二十五日午後〇時二〇分開会、午後一時五〇分閉会
場　所　京都嵐山、嵐峡館
出席議員
　吉川会頭以下　三十四名
　外委任状　三十五名
議決事項
　1　昭和三十一年度当所事業報告承認の件
　2　昭和三十一年度一般会計収支決算承認の件
　3　昭和三十一年度特別会計退職資金積立金収支決算承認の件
　4　昭和三十一年度末貸借対照表財産目録承認の件
　5　常議員補欠選任の件
　6　其　他
(1) 年末融資につき市中銀行其他に対し要望
(2) 十月二十日付毎日新聞奈良版記事に関する商業部会開催の件

○第九回

日　時　昭和三十三年三月十四日午後一時五〇分開会、午後三時三十分閉会
会　場　当所会議室
出席議員
　吉川会頭以下　十七名
　外委任状　四十八名
議決事項
　1　昭和三十三年度事業計画及収支予算の件
　2　議員の選挙及選任に関する規程中改正の件
　3　第三期一号議員の選挙期日決定の件
　4　其　他

近畿日本鉄道奈良駅及油阪駅の整備拡張に関する要望決議案

以上各回提出の事項は何れも理事者により提出、原案通り満場一致可決せられ報告事項も何れも承認を得て終了した。

(2) 常議員会

本年度に於ける常議員会を開会したること三回、其の要領は左の通りである。

○第十三回

日　時　昭和三十二年九月十二日午後三時～午後四時
場　所　三笠温泉
出席者　吉川会頭　外十八名
議決事項
　1　昭和三十一年度事業報告の件
　2　昭和三十一年度一般会計収支決算承認の件
　3　昭和三十一年度特別会計退職資金積立金収支決算承認の件
　4　昭和三十一年度年度末貸借対照表財産目録承認の件
　5　常議員補欠選任の件
　6　給与規定中（退職給与金）改正の件
　7　昭和三十二年四月一日より八月末日迄の業務の概要報告

○第十四回

日　時　昭和三十三年一月二十三日午後三時～四時四十分
場　所　奈良ホテル
出席者　吉川会頭外十一名
議決事項
　1　昭和三十二年度一般会計収支更正予算の件
　2　業務中間報告の件
　3　中小企業団体法説明の件
　4　其他報告事項
(1) 伊勢博への出品
(2) 従業員表彰
(3) 福岡見本市

○第十五回

日　時　昭和三十三年三月十四日午前十時半～正午
場　所　当所ホール
出席者　吉川会頭　外十名
議決事項
　1　昭和三十三年度事業計画及収支予算の件
　2　議員の選挙及選任に関する規程中改正の件
　3　第三期一号議員の選挙期日決定の件
　4　其　他

近畿日本鉄道奈良駅及油阪駅の整備拡張に関する要望決議案

以上各回提出の事項は何れも理事者より提出原案の通り満場一致可決せられ報告事項も亦何れも承認を得て終了せり。

(3) 監事会

本年度一ケ年間の業務及経理の状況を監査すべき監事会は左の通り開催した。

日　時　昭和三十二年九月十二日午後一時～二時
場　所　当所役員室
出席者
　監　事　宮島善治　中本与嗣久
　理事者　吉川会頭　中村専務　京極参事
監査事項
　1　昭和三十一年度当所事業報告
　2　昭和三十一年度一般会計収支決算
　3　昭和三十一年度特別会計退職資金積立金収支決算
　4　昭和三十一年度年度末貸借対照表、財産目録

以上何れも正規の通り処理されていて之を承認すべきものと決定された。

(4) 正副会頭会

○四月四日　於奈良ホテル
出席者　吉川会頭　杉本副会頭　前山副会頭
　奥村副会頭　中村専務
協議事項
　新年度本所の運営方針及職員ベースアップについて

○五月二十七日　於当所役員室
出席者　吉川会頭　杉本副会頭　前山副会頭
　中村専務
協議事項
　1　昭和三十一年度当所収支決算の件
　2　在阪神財界人との懇談会開催の件
　3　其　他

○八月二十九日　於当所役員室
出席者　吉川会頭　前山副会頭　中村専務
協議事項
　1　常議員会、総会開会の件

○十二月十二日　於奈良ホテル
出席者　吉川会頭　杉本副会頭　前山副会頭
　中村専務
協議事項
　年末職員賞与につき

○一月十六日　於当所役員室
出席者　吉川会頭　杉本副会頭　前山副会頭
　奥村副会頭　中村専務
協議事項
　昭和三十二年度収支更正予算

○三月六日　於当所役員室
出席者　吉川会頭　杉本副会頭　前山副会頭
　奥村副会頭　中村専務　京極参事
協議事項
　1　昭和三十三年度事業計画及収支予算の件
　2　当所議員選挙及選任規程改正の件
　3　第三期一号議員選挙期日の件
　4　其　他

(二) 会員及特定商工業者の状況

1　会　員

(1) 会員数の異動

本年度は廃業、転業等にて退会者四十五名ありたるも当所の認識度が深まりつつある為六十一名の新会員の加入をみた。

年度始めから年度末迄の異動状況は次の通りである。

法人会員	入会	一九
	退会	一七
	増減	(+) 二
	月末会員数	三九
個人会員	入会	四三
	退会	二六
	増減	(+) 一四
	月末会員数	四一
別会員総数		八四

2　特定商工業者

商工会議所法に依り実施されている特定商工業者の三十二年度の該当者数は次の通りである。

(イ) 範　囲

奈良県内に営業所、事務所、工場、事業場等を有する商工業者の中次の何れかに該当するもの

(1) 事業税（県税）の年額が三万六千円以上の個人又は次項以外の法人

(2) 資本金又は払込済出資総額が三十万円以上の法人

(ロ) 特定商工業者の数

三十二年四月一日現在による地域別特定商工業者の数は次の表の通りである。

法人	個人	計
一〇五八	四八	一〇六

年度末該当者数は廃業、転業、転出等の理由により一二二名の失格者を出し三十二年度の総数は一、三四四名であつた。

(ろ) 負担金

(1) 法第十二条十三項の規程に基く同意数七八九を得た。

(2) 負担金許可申請と許可

昭和三十二年度負担金一千円につき特定商工業者過半数の同意を得たので、七月五日付で通商産業大臣に対し負担金許可申請書を提出したところ八月十二日大商第三九五五号にて申請通り許可を得た。

3 商工業者法定台帳

(イ) 法定台帳の作成

商工会議所法第十条の規程により全特定商工業者に対し法定台帳調査票を発送した。

年度末一、三四四人の全特定商工業者中、調査票の提出ありたるもの一、〇二一人、七〇%であつた。

(ロ) 法定台帳の管理

法定台帳関係事務遂行の為、台帳管理の状況は左の通り

(1) 予備調査票の収集

(2) 法定台帳の作成

(3) カタログ、営業報告書、其他参考提出資料の整備

(ハ) 法定台帳の運用

主な事業は次の通り

(1) 特定商工業者名簿（一九五七年版）の作成

法定台帳及各種カタログ類等活用の為綜合索引として特定商工業者名簿を作成し、特定商工業者並びに各地商工会議所及関係先に配布した。

(2) 法定台帳の運用

各業界又は商工業者からの問合せに対し、法定台帳の登録事項及び他の参考資料に基いて各般の事項の照介回答を行つた。その成績は別項商工相談所の項に登載する。

(ロ) 役職員の異動

1 十月二十五日第八回議員総会に於て前常議員、村瀬精氏の転出に伴う後任として淵岡美士磨氏就任。

2 永く本所の役員であつた常議員、紺木久兵衛氏は七月二十五日 長逝せらる。

3 書記染田澄子二月二十五日付退職

4 南田小夜子四月一日付雇上採用

会議所へ入会のすすめ

会議所は皆さんの秘書です
会員になつて会議所の機能を活用して下さい

会員になつて会議所の機能を活用して下さい

商工会議所の基盤は、会員並びに特定商工業者の皆さんによつて成立しています。会員になると会議所の運営に直接携わることができ、そしてその意見が取り上げられ、それが政府を動かして政策に反映されます。

会議所は皆さんの世論を代表する機関です

労仂基準法、金融税務、その他事業を経営していく上に種々の悩みがあります。会議所は商工業者の世論を代表する機関ですから、会員となられ正しい意見をドシドシ吐露され、それが業界の意見として取り上げられ政策面に反映することができます。

会員のために行つている主なる事業

会議所の生命は事業であります。事業にはいろいろありますが主なるものは次のようなものです。

1、専門家と連絡して事業経営の全般について診断し経営上の指針を与えます。

2、景気の波に乗つて企業をすすめていくことは緊要なことであるので、当所では随時又は定例的に講演会等を開催して明日の景気の動向を示すようにしています。

3、工業新技術の講習会、経営改善上の各種の講習会、管理講習会、ならび税法その他新法令の説明会を開催する外、税金に関する苦情相談所を開設、国税庁の関係官や公認会計士等が相談に応じています。

4、金融、物価、貨物、工業生産、会社経営の状態、税制、貿易、中小企業などの特別調査をして企業の指針になるようその結果を会員に知らしています。

5、商取引の促進には全国四百有余の商工会議所と連絡をとつて取引の斡旋を行つています。

6、県、市と相談して他府県に進出物産の現地展示会や見本市を開催、或は共催、後援し、会員の取扱つている製品の宣伝につとめています。

入会の手続は極めて簡単です

会員になるには所定の申込書（当所にあります）に必要事項を書きいれてお届け下さるだけで結構です。入会手続その他、お問合せは電話六〇七七番へ御通報下さい。係員がお伺いして御説明申し上げます。

昭和33年度一般会計収支決算書

（昭和32年4月1日から 昭和33年3月31日まで）

（単位円）

収入の部

款	項	決算額
1 会費		6,952,430
	1 会費	3,310,000
	2 過年度収入	3,210,000
2 負担金		100,000
	1 特定商工業者負担金	753,000
	2 過年度収入	748,000
3 交付金		5,000
	1 補助金	1,740,000
	2 委託事業費	290,000
4 事業収入		1,450,000
	1 検定及受講料	694,431
	2 証明及斡旋料	331,320
	3 出版物収入	9,740
	4 其他事業収入	326,360
5 寄付金		27,011
	1 寄付金	88,000
6 雑収入		88,000
	1 預金利子	23,315
	2 其他雑収入	22,815
7 前年度繰越金		500
	1 前年度繰越金	343,684
収入合計		343,684

支出の部

款	項	決算額
1 給与費		1,679,410
	1 俸給	1,168,800
	2 手当	231,510
	3 賞与	279,100
2 旅費		93,339
	1 旅費	93,339
3 事務局費		593,155
	1 通信運搬費	94,902
	2 什器備品費	54,752
	3 消耗品費	67,789
	4 図書費	69,741
	5 印刷費	23,595
	6 修繕費	143,710
	7 光熱費	111,596
	8 その他諸費	27,097
4 会議費		178,133
	1 議員総会費	58,746
	2 常議員会費	21,940
	3 部会費	55,327
	4 委員会費	19,980
	5 監事会費	350
5 事業費		3,486,146
	1 一般事業費	1,783,479
	2 調査広報費	393,070
	3 商工相談所費	547,110
	4 法定台帳作成管理運用費	762,487
6 交際費		150,609
	1 交際費	150,609
7 公課分担金		219,635
	1 公課	2,600
	2 分担金	217,035
8 福利厚生費		139,119
	1 福利厚生費	139,119
9 退職資金積立金特別会計繰入		220,000
	1 退職資金積立金特別会計繰入	220,000
10 雑費		69,449
	1 雑費	69,449
11 予備費		—
	1 予備費	—
支出合計		6,928,995

特別寄稿

◎観光地の会議所に望むもの

奈良市長　高　椋　正　次

皆様の心からの温情と御厚意をうけて去る八月二十九日から四十日、国連総会への出席の傍欧米各国を視察させて頂き十月八日無事に帰つて参りました。初めに心から厚く御礼申しあげます。

商工会議所が年と共に発展の途を辿られ今亦大きい飛躍をとげようとしていられることを特集号の発行と共に心から御祝い申しあげます。観光にいきる奈良の姿を自分の通つて来た各国のそれと比べながら今後の奈良の在り方更に之と共にある商工業の在り方等々いろ〳〵の方面から研究調査して参りました、観光地は観光だけでたつてゆくことはむつかしいことで、観光と商業とは表裏一体であることを今更ながら痛感して参りました。観光地として名高いスイスでもあの大きな規模の観光に徹しながら尚且工業立国を標傍して時計を中心とした精密工業に活きている。而も表裏一体ほんとに一如となつて教育も生活も環境もこれにふみきつている。少しの道の広場、要所〳〵に芝生がある、花園がある。その花園がいろ〳〵の時計の型になつている時、間を示す所を花で而も色でわけている、長針短針もついている。これが到る所にみられる。観光にも工業にもそして環境の整備にもなるわけである。徹しきつた姿が偲ばれます。ウインドはいつも明るく照明してあり、特産物がガラスごしにいつでも入ればすぐあれと指示出来るように客の関心をそそるようにしてある。その土地特有の匂いがあるものをいかし展示してある。

ひるがえつて奈良の姿をみてみますと外人観光客のいう「独特の匂」の特産物がない。日本中到る所あるものばかりで奈良だけの匂いのものがない。夜一寸出てみても特産物をならべたウインドの照明陳列等に人をひきつけるものが少ないのではなかろうか。必すしもみて来たもののみを固執する気持はない。しかし観光地として世界の目と感じている奈良であつてみればよいなあと思つた所は一応活かしてみる要はありはしないだろうか。会議所が商工業の元締めとして大きい立場からの独特の匂いを出してもらえないだろうか。会議所の重要性は年と共に益々重大となつて来ている。会議所の運営如何が市の県の使命果た亦経済界に大きな影響を与えつつある現状であります。観光ホテルの建設等積極的に一歩ふみだされた会議所が更に観光地を活かす商工業の活動を通じての何かの匂いをうち出して頂けるならばと思います。

県、市、会議所、市民が手をつなぐその中間の立場として潤活油の役目をして頂くと共に独特の匂いを出して頂くことを希望して観光地の大きな商工業の活躍に期待して御挨拶といたします。

× × ×

× × ×

論壇

◎最近の経済情勢について

日本銀行
大阪支店長　三　森　良　二　郎

この稿は今年の夏当所で行いました懇談会の席上における支店長の講演でありまして、企業経営者としてゆるがせに出来ない金融面のことであります。心して御愛読下されば幸甚です。文責は記者にあることを申添えます。

最近の情勢について一言御話をしてみたいと思います。先ず先週私の方の公定歩合二厘引下げを実施致しましたことは御承知の通りであります。この問題については、前から新聞雑誌等に議論をたゝかわせ、これで殆ど論点はつきていると思いますが踏切にいたつた経緯についてお話申上げてみたいと思います。

昨年五月御承知の引締め策を実施いたしましたのは国際収支の逆調を防止しようとするにつきるのであります。実施以来一年たち、この間皆様に非常な御苦心と御努力をお願いたしました次第でありますが、こうした苦心努力の効果も次第に出てまいりまして、今日は当時とかなり異る状況になつてまいりました。

第一に国際収支の点でありますが、之は昨年五月六月は毎月一億ドル以上の支払超過でありましたが、割に早く改善のきざしをみせ、実質収支については、昨年の九月に黒字に転化し、以来程度の差はありますが、ずつと黒字の状態であります。九月から五月迄の収支尻の黒字、受取超過が三億二千万ドルに達しています。以前逆調によつて失つたものを、数字上は半分以上回復したと言い得るかと思います。

従つて日本が持つている外貨準備高も、今日大体七億ドル、昨年九月最低になりました時は四億五千万ドルでありまして、二億五千万ドルばかり回復したのです。もつとも外貨準備高の算定基準は昨年お伺いしてお話した時の基準と異つているかもしれませんが、これまでは一応債権ではありますが使えないオープンカウント等を含んでいましたが、今申し上げました準備高はオープンカウントを除き、流動性のあるものだけを計上するという方式に改めたのです。その為に割高関係もかなり大巾に改善をみましたと言い得るのであります。

次に国内物資の需給関係をみますと、一昨年から鉱工業の生産がかなり増加してまいりましたが、一方投資がおさえられるとか、色々な面が出てまいりまして、需要がへつてくる、それに伴つて生産者の手許に於ける製品の在庫が大分増加し、経営上にも非常に苦しい面が出て参つたのでありましたが、之が昨年の秋以来、殊に本年になつてから、繊維をはじめとして各方面に於ける生産調節が真剣に検討実施されご承知の通り人絹の如きは五割の操短、スフは四割とかなり操短をし今尚之を継続していますが全体として鉱工業は平均して昨年の五月に比べて、今年の四月は一〇%余り生産が低下しております。従つて先程申上げました様に、生産者の手許におけるストツクの増加も、季節的な関係を調節いたしますと、一月以降は減少の傾向になつてまいりました。一月は昨年の五月に比べますと、生産品が三割六分ばかり在庫がふえております。季節的関係を調節

尚こゝ当分は若干ながら黒字になるのではなかろうかと予想されて居ります。収支尻の改善が顕著であると言い得ると思います。

国際収支尻の改善の原因となる国内物価の状況ですが、日本の物価は一昨年非常に上り、外国の物価に比して、かなり割高となつておりましたが、之は引締め政策実施以後月により多少の軽易な差はありますが、ずつと下つてまいりました。今日では引締め実施以来、卸物価で七%強下つてきました。その為に割高関係もかなり大巾に改善をみましたと言い得るのであります。

してであり、単純な数字はもつとふえるのですが、それが月末になりますと二割四分の増加に止り、つまり一割二分ばかり減つてきたという傾向になつてしまいました。五月末の数字は出ておりませんが、恐らく同じ傾向をたどつていると考えられるのであります。かなり物資需給の関係も改善されてまいりました。それだけ存庫が少くなれば企業家の金融面における圧迫も軽減されてくるのではなかろうかと考えます。

次に金融の数字をみますと、引締め政策実施以来も当座は旺盛なる輸入に対応する輸入決済資金の需要、或は設備投資資金の需要、又生産増加に伴う増加運転資金の需要とか、こういう様なものが重なり、引締めは相当強度に実施致しましたが尚、金融機関のオーバーローンはずつと続いてまいつたのであります。昨年の秋頃から、いくらか輸入決済資金の需要も峠を越した様ですし設備投資についても削減の努力がみられる様になりました。年を越して最近、操短に伴う資金所要額も出てまいりましたが、之もどうやら今日では、大筋としてみますと、峠を越したと、或はこしつゝあると申し得る様になりつゝあります。全体としてかなり資金需要が沈静してまいりました。全国銀行協会の数字をみましても、一月から五月の預金の増加と貸出の増加とを比較してみますと、五ケ月間に今年は預金が一、六〇〇億円ふえて、貸出は一、九〇〇億円ふえ、尚三〇〇億円のオーバーローンでありますが、前年同期は一、六〇〇億円のオーバーローンでありますから之に比してかなり改善されています。改善の原因を見ると預金の増加は前年と差程かわらず、貸出しが前年に比してへつてきたという事になります。

このやうに資金のバランスも完全に回復したとは申せませんが、回復の歩調に向つてきました、国際収支状況もかなり顕著に回復し、物資の需給関係も漸次均衡回復に向いつゝあり、全体として経済が平常な状態にもどりつゝあるというのが現状であろうかと思つています。

こういう風になりますと、引締め実施によりまして、かなり金利が高くなつています事は相当な重圧となつています事は申す迄もない事で、金利のおもしを一歩取除いてもよいではいか、別の言葉によりますとこう言う風な引締め政策の仕上期になつてくれば、そういう風な異常な金利高を是正し、金融を正常化の方向にもつて行く様に一歩進める。之を亦業界の方々からみますと、それだけ金利負担の軽減になりますが、こういう事をやるのが妥当であり、之をやつても格別大きな支障がおこらずに進むのではなかろうかとの見通しを持ちまして、今回の公定歩合の引下げをやつたわけであります。私の方で引下げを実行した事に対応いたしまして、市中銀行でも先週末、貸出の金利の最高限度を引上げる事に踏切られました。今週から実施段階に入り、これをいち早く而も自主的な努力をもつて踏切られた事については、私共も市中銀行の方に大いに敬意を表している次第です。

このように私の方の公定歩合引下げに対応し、全国銀行の貸出金利も下げる傾向になり、其他の金融機関に於ても、実情に即しそうした引下げの方向を進められることと期待しています。こういう風な状勢になつてきましたが、金利―公定歩合の引下げの意味について、ここで私共として注意しなければならない事は、之は所謂金利負担の軽減であつて金融の緩和即ち緩和策を取つたという意味ではないのであります。

先程申しました様に、状勢もよくなつて、一口にいえば、引締め政策の仕上の段階に入りつゝあると言い得るのですが、仕上が完了したという意味ではないのであります。現に国際収支の面をみましても黒字は続いていますが、黒字の原因を探ると輸出が増えて、なつたのではなく、輸入が減退してこういう数字になつたのであります。

ごく最近の状況をみましても、四月五月の数字をみましても、輸出は二ケ月で平均二億二千六百―七百万ドル、これは前年の六月七月と同じ水準で、昨年の十月―十二月、今年の一月―三月の平均に比べると、むしろ低いので、昨年の十月―十二月は平均して二億五千万ドルであつて、今年の一月―三月の平均も、四月五月の平均より上であります。輸出はこの様に必ずしも順調ではないのでありまして、逆に輸入の方が大巾にへりまして、四月五月の数字は平均しますと二億八百万ドルになると思いますが、前年同期は三億二千万ドルで輸入の大巾な減退によつて黒字が出ています。こういう事が言えるのであります。はたしてこの輸入の減退がいつまでもつゞくかという事に一つの問題がありまして、御承知の通り高率の操短を実施していますので、原料の消費―輸入原料の消費輸入依存度が相当ふえるという事を考えておかなければなりません。現在まで黒字であつたかといつて、

今後ずつと黒字で終るという保証は出来ないのであります。輸入が増加しても尚黒字である為には輸出がどうしてもふえなければならないのであります。

今日の黒字は黒字でありますが安定した黒字とは言えないのであります。

次に国内の問題、物資の需給均衡の為に操業短縮が真剣に実行されていますが、ここで、もし金融が緩和する等、そして多少でも、ゆるみが出まして、十分操短が実行されないと、折角回復しつゝある需給のバランスの時期がおくれて行きます。それだけ日本の経済が正常になつてくる時期がおくれるという事になりますので、やはりこの点につきましても真剣に継続される必要があります。

それから資金の面をみましても、前年に比して、需要がかなり減つてきていますが、はたして現在資金需要の均衡が回復しているかというと、其処に又問題があります。成程、操短需要に伴うものは、或る程度峠を越さんとしていますが、一方設備資金の如きは、今年も重点産業を中心として尚相当高いのであります。之は計数のとりかたによつて色々ありますが、先般通産省で集計された所によりますと、昨年実績七千六百億円で、之は通産省関係だけでありますが、今年は一応企業の方の希望を集計しますと八千四百億円になりまして、通産省で或る程度削減して、七千億円の数字を出していますが、それでも、昨年と余りかわらない数字であります。而も今年は企業の自己資金が相当前年より減つておりますと資金所要額は同じでも金融機関に依存の度合は増えてくると考えられます。

しかも昨年上述のような設備資金や運転資金の需要を賄う為に銀行は非常なオーバーローで私の方で引締をやりながら年度間に貸出が三、一八億円増加せざるをえなかつた状況ですが、このオーバーローンの状況はいつまでも続ける事は出来ないのであります。そういうオーバーローンをせずにそうした資金需要に対処する資金需要の関係が安心してバランスがとれるという所でなく均衡を計る為には今後の努力に待たねばならないという所であります。

以上のような状態を一言で申しますと、まだ金融を緩和する時期ではない、唯昨年の様な重圧が解消してまいりましたので、出来るだけ早く金利負担を軽減したいというのであり、金融の基調としては変らないのであります。従つて、私の方の金融機関に対する所謂窓口規制は従来通り継続して行かねばならない情勢であります。

今度の公定歩合の引下げは金利の引下げで、金融緩和ではない。このことを皆様を通じて一般にも認識を徹底していただく様に御願い致したいのであります。金融全体としては緩和する状勢ではないのですが、やはり日本経済全体からみまして今後経済が安定した基礎の上に発展をする様になり、金融面についても緩和する事が望ましい事は申すまでもないのであります。この為には今後皆で努力しなければならないのであります。

それではこうした安定した基礎にたつて経済が発展して行く為には、どう言う努力をしたらよいかは、皆様御承知で、やはりこの点、そう新しい事ではなく、輸出の増進、資本の蓄積の増加、更に企業内における経営面の慎重なる態度、計画、この三つが、日本経済が安定した基盤の上で、発展して行く基礎をつくるに重要なものと考えている次第であります。

輸出の面に於ても、先に申しました様に、最近あまりよい数字を示していないのでありますが、ここで問題なのは今日の世界情勢が楽な情勢ではないことであります。

この点が前回の引締め政策実施のときの状況と異つています。前回は引締め政策の実施は、二十八年の九月でありましたが、二十九年の後半から世界の景気が上昇し、そうした世界経済上昇の波にのり、日本の輸出が増進し、経済も好況となり金融が緩和するという状況になりましたが、今度の場合は、世界情勢がそこまで行つておりません。

一番問題になるのはアメリカの景気で、昨年の秋以来景気下降状況で、最近に至り、下降状況が一寸停止し、横ばいの状況になりました。数字を申しましても、例えばアメリカ国内における鉱工業生産については、五月の指数一二七、前月に比べて、一ポイント上向きました。鑑工生産が上向いたのも、アメリカ経済が八ケ月ぶりでありま す。それからアメリカの重要産業である鉱鋼業の操業率は四月には全設備に対して操業度合は五割を割つて五割以上の操短になりました。五月に入ると回復して五月末で五八%、六月は六割を少し越えているだろうといわれている状況であります。鉄鋼生産も大分上向いてきています。

それから失業者の数をみましても、五月では四九〇万人、前月に比して二二万人へりました。失業者の数が五〇〇万人をわつたのも一月以来の数字であります。

指標をみますと、かなり回復する指標が出て、一部には景気が底入れをしたのだと、まもなく上昇過程に転するという楽観論もなきにしもあらず、只一般的見地から言いますとまだそこまで行きません。鉄鋼の操業度上昇という事も、先行鉄鋼価格が上るだろうと見越して仮需要が出ているとも言われている。亦失業者の数も新しい学校卒業者も出て来ましようから、又増えはしないかとも言われています。よくなるまでに尚多少の時間があるのではなかろうかともいわれています。

事業会社の収益につきましても、石油とか鉄鋼など、第一四半期収益状況は前年に比して余程へつています。それから設備投資の本年度の予測も、前年に比べると一割七分減つています。之は二月三月に予想したより、今の方が少くなつています。必ずしも底入れが終つて、回復の方向に向うのは年末近くではないか、又其の回復の歩調もゆるいものではないかとの観測であります。

こういう風なアメリカの情勢ですが其他の外国の状況を見るとイギリスの如きは外貨準備は最近、色々な施策をやつた結果増えてきました。一時二〇億ドルを割つたのが施策をやつた結果三〇億三千万ドルという数字になり、回復が相当顕著でありますが、但しその反面国内における生産は停滞し、失業者はふえています。而も一方、こういう風な状況であつても賃上げの要求が多く、小売物価も強調だという情勢であります。

ドイツの如きも、国内の生産は相当高水準を持していますが、輸出入はやはり減退しています。その他西欧諸国の景気、貿易は減退の状態にあります。

一方後進国たる、東南アジアとしても、外貨不足で購買力が出ません、こうした諸外国の状況からみますと、やはり今後各国共に国際市場に対する競争―貿易競争ははげしくなつてくると言い得るのであります。

こうした状況下で、輸出を増進するには、簡単な事ではありません。各方面の努力が必要でありますが何としても輸出中心とする努力によつて、日本経済が一歩一歩よくなつてゆく、そうした歩み方によつて日本経済の永続する発展が出来るのであることを銘記しなければならぬと思います。既に先に申しました様に外貨準備は六億ドルに回復したと申しますが、昨年の九月から二億五千万ドル回復していますが、反面国際通貨基金（I・M・F）から一億二千五百万ドルかりていますので、之はやがて返さねばなりませんが、之を差引くと今でも六億ドルという情勢であります。この様な外貨では安心するまでには程遠い状況と思います。

そういう点からみますと未だ安穏に過す事は許されないのであります。やはり貿易―輸出を増して行く事に中心をおいて努力してゆかねばなりません。亦国内では同時に資本蓄積を大いに増加してゆかねばなりません。昨年末の貯蓄一般の成績は悪いとは申せませんが、決してまだ十分ではありません。また各方面の必要とする資金を預金で賄つて行くという需給のバランスがとれておりません、ですから一層資金蓄積の努力をしなければなりません。其の為、今後銀行貸出の金利は引下げましたが、預金の利子はそのまゝ据おくと、銀行の経営は苦しいですが、銀行の方で大いに努力してもらうという事になつています。ですから無駄な消費を避けて貯蓄増強に努力していたゞきたいのです。又一般企業に於かれましても、需要に応ずる生産の調節を大いにやつておられますが、これは程なく効果をもたらして、正常な在庫にもどるのではなかろうかと思われます。

前に述べましたような国際情勢でありますから、急に、非常な効果は期待出来ませんが一歩々々努力をして基礎を築いて、別の言葉でいえば、地固めをして行く事が必要であり、又之をやる事によつて今後の日本の繁栄の基礎が出来上つて行くのだと言えるのであります。

又金融の面についても、やはり貯蓄が増強し、企業家一般の態度が慎重になり、輸出が増進すれば、この金も国内に入つて自然に金融機関の手元を潤し、更に企業家に対する金融の緩和傾向になります。

私共としましても、現在は緩和の状況ではありませんが、そうした状況が一日も早く実現する様に期待し皆の協力で努力する事が必要だと考えます。

尚この色々な経済発展の為に金融方面の努力すべき点も多いと思います。色々な金融の正常化をやつて行かなければならないと思います。こうした点も皆諸情勢の推移とにらみ合せ、一歩々々健全な歩みをつゞけ、再び昨年やつたような事がなくて、ずつと日本経済が一本調子で進み得る様に皆で苦しくとも努力すべきではなかろうかと、かように考える次第であります。

要望

我等の望む三四年度税制

現在の租税負担は、数年来の改正により相当緩和されてきたが、一人当りの国民所得が欧米諸国のそれに比して著しく低いわが国においては、国税・地方税を通ずる総合負担はまだ相当重く、なかんずく中小企業を中心とする中小所得階層の負担が最も過重であつて、減税に対する国民の要望は極めて強いものがある。

よつて、昭和三十四年度においては、次の事項に重点を置いて税制改正を行われんことを要望する。

第一　一般的事項

1　税制改正は、直接税とくに所得税、法人税、事業税を中心として行うべきである。その財源としては、自然増収及び歳出の節減をもつてあて、これがため、中央、地方を通じて行政機構及び事務の徹底的な整理を行うこと。

2　国と地方団体及び地方団体相互間の財政上の関係については、富裕団体と貧弱団体間の財政税制上の根本的な調整を行い、地方団体の異なることによつて国民の負担が著しく不公平とならないよう是正すること。

3　経済発展の現段階においては、輸出振興、資本蓄積、科学技術振興等に関する租税特別措置はこれを存続し、特に必要な部分にはさらにこれを拡充するとともに、これらの措置を中小企業にも適用し易くすること。

4　税務行政の改善、合理化を図り、企業会計社会慣行の実情に即したものとすること。

とくに所得税の確定申告に対する取扱、法人税総合通達等の取扱において、主として徴税上の便宜から行われようとしていることは極めて遺憾であるから、これを是正すること。

5　なお、根本的な税制改正として、企業に対する現行所得税、法人税の課税制度について再検討を加え、新たに、法人及び個人を通じた企業に対する課税制度を創設し、企業の資本蓄積、経営の発展に資することができるような制度の改正について考究すること。

第二　国税

1　所得税

(1)　所得税については、標準世帯の場合において、年所得三十万円まで非課税とするよう基礎控除額等をそれぞれ引き上げること。

(2)　青色申告制度は、申告納税制度の根幹をなすものであるから、益々奨励育成すること。

なお、専従者控除額を引き上げること。

2　法人税

(1)　法人税率は、現行税率（三八％及び三三％）をそれぞれ三％引き下げること。

(2)　同族会社の留保所得に対する特別課税は、廃止すること。

(3)　最近技術革新の進歩は著しいものがあり、これがため現行の耐用年数は企業の経済実情に適応していないので、これに即応するように耐用年数を大巾に短縮すること。

また、これに伴い、特別償却制度についても検討を加え、中小企業にまでその適用範囲を拡大すること。

3　売上税的性格を有する間接税は、現在のわが国経済の実情においては転嫁が困難であり、取引秩序を混乱せしめる恐れがあるので、これを創設しないこと。

4　物品税等において、とくに国民生活上課税の不適当のもの及び課税の不均衡を来しているものについて税の軽減及び調整を行うこと。

5　手形等に対する階級別印紙税課税は借用証書に対するのと異なり手形取引の障害となつているので、これを従前通り定額一律課税とすること。

6　退職金について、退職所得加税の基礎控除を大巾に引上げるとともに、中小企業従業員退職金の共同積立（給与額の百分の四まで）を全額損金算入または必要経費とすること。

第三　地方税

1　事業税

(1)　個人事業の税率八％、六％、四％をそれぞれ六％、四％、三％に軽減し、農業に対しても三％程度を加すること。

(2)　個人事業税の基礎控除

を二十万円に引き上げること。

(3) 法人事業税については、各所得区分の税率をそれぞれ二%ずつ引き下げること。

2 固定資産税

(1) 固定資産に対する免税点を引き上げること。

(2) 償却資産に対する課税は事業税と重複する負担であるので、これを廃止すべきであるが、差当つては税率を半減すること。

中小企業対策について

最近の中小企業は、生産、販売の減退、採算、資金繰りの悪化などから、ますます沈滞の色を濃くしており、このまゝに推移するにおいては、今後の中小企業は極めて深刻な事態に直面するおそれなしとしない。

よつて、政府ならびに各政党においては、この際、特に下記諸施策についての積極的対策を強力に推進されんことを要望する次第である。

一 中小企業金融対策

(1) 中小企業金融公庫および国民金融公庫の現在の資金量からすれば、両公庫における第三、第四・四半期の融資枠は前年同期を僅かに上廻る程度の額しか見込めないので、可及的速かに予算総則第三十五条の規定を運用するか、または来る臨時国会において予算補正の措置を講ずるかの方法により、中小企業金融公庫については七十億円程度、国民金融公庫については五十億円程度の財政融資の増加をはかり、これら金融機関における第三、第四・四半期の融資枠を増大すること。

また、中小企業金融公庫および国民金融公庫に対する資金需要は今後ますます増加の方向をたどるものとみられるので、昭和三十四年度予算においては、これら公庫に対する財政投融資を飛躍的に増額し、両公庫における資金の充実とあわせて、貸出金利の引下げをはかること。

(2) 商工組合中央金庫については、同金庫における第三、第四・四半期の融資の円滑化をはかるため、直ちに三十億円程度の資金運用部債券引受の増加をはかること。また、昭和三十四年度予算においては、同金庫に対する政府出資および資金運用部債券引受を大幅に増額し、同金庫における資金量の確保とともに、貸出金利の引下げをはかること。

(3) また、中小企業金融公庫および商工組合中央金庫における今後の貸付については、最近の中小企業における資金需要の性格に照し、従来の貸付資金対象のほか、生産調整資金および輸出振興資金についてもこれが融資を行い得るようにすること。

二 設備の近代化

輸出振興等の見地から可及的速かに中小企業における機械設備の近代化をはかるため、中小企業の業種別年次別設備近代化計画を確定し、これにもとずき昭和三十四年度においては、少くとも八十億円程度の助成資金を確保し、対象業種、対象設備を追加し、貸付率を二分の一に引上げる一方、地方公共団体の負担を国の補助金の二分の一とすることなどによつて、強力に中小企業の設備近代化を推進すること。このため、他方においては、老朽設備のくず化の促進についても強力な助成措置を講ずること。

三 輸出中小企業の振興

輸出中小企業の振興をはかるため、新規輸出製品の発掘ならびにこれが輸出の促進、中小企業輸出品の研究、試作に対する助成等についての施策を強化すること。

四 経営、技術に関する診断、指導相談制度等の充実

(1) 中小企業の合理化を促進するため、中小企業診断制度について、中小企業診断士法を制定する一方、同制度の画期的払充強化をはかるとともに、特に輸出中小企業についてはその関連産業をも含めた集団診断を重点的に実施すること。

(2) 中小企業の技術水準の向上をはかるため、地方公共団体の公設試験研究機関の充実、技能者養成機関の拡充強化等について画期的な助成措置を講ずること。

(3) 商業の経営の合理化をはかるため、マーケッティングの促進、割賦販売制度の改善、商業P・R運動の展開等の施策を推進すること。

(4) 零細事業者に対する経営技術の指導相談の徹底をはかるため、中小企業相談所に対し、専門相談員の増置、巡回指導相談の実施、指導相談資料の整備ならびに相談員再教育施設等についての強力な助成策を講ずること。

誌上紹介

◎奈良県産業の今昔

!! 蚊帳工業 !!

（蚊帳の巻）

全国的に名の知られている奈良県の産業を尋ねて先づ蚊帳工業の今昔につき、数十軒ある業者の内、老舗として知られている植田蚊帳KKの社長さんに語つて貰つたのが本稿であります。然し当の社長さんは今夏長逝せられ本誌をお目にかけられない事を心から悲しみます。（文責在記者）

○奈良蚊帳の半世紀

「蚊帳」半世紀の歩み

植田喜太郎氏口述

私の家はその以前、綿屋嘉兵衛から手織業を営み、近在の農家の閑散期を利用して、蚊帳生地、大和白木綿を製造し、市内及び高田方面に販売していた。併し明治後年力織機が出来てからは、非能率的で製品の不均一な手織が時代遅れとなり次第に衰微して来たのと、明治三十七・八年の日露役戦勝後の好景気により、四十一年十二月一日蚊帳の製造卸に転じ、植田商店の個人名儀をもつて開業し、同四十五年織布を廃した。

その頃市内には十数店の蚊帳製造豪商店があり、夫々内地一円に得意先を持ち、滋賀、広島、福井、愛知各県の業者と肩を並べて相当雄飛されていた。殊に奈良は当時から綿物の本場として、坊城、築山、紀伊三葛その他各地の行商人が殺到し、殆んど一年中取引が盛んに行われていた。

手織が力織機に代ると共に大正の初め頃からミシンが使用され始めたし、蚊帳地の染色及び糊張仕上げはそれまでは手染、手張で天日乾燥していた為、雨天には休業の状態であつたが、奈良蚊帳の先覚者によつて、蒸気乾燥機が考案され、現在に到るまで業界に貢献された事績は大きいものである。以後これに習つて次々と改良された染色乾燥機工場が出来て今日その恩恵に浴している。

私共が蚊帳の製造販売を始めて、最初の市場を日韓併合直後の朝鮮（つづいて沖縄）に求めた。当時朝鮮では一部上流の家庭でないとかやは使用して居らず、大部分は窓にかやを張る程度で、販売対象は該地の内地人だけだつたが、その後次第にかやが普及し高級品が売れる様になつたので、私共の躍進の足がかりとなつた。朝鮮に進出したのはどの店よりも一番早かつたと思う。

大正二年奈良蚊帳御商同盟会が結成され、取引条項の制定、製品の改良等を議し、初めて共同の利益増進の為種々劃策した。弊店も其の一員に加えられて之に参画した。

次いで同盟会事務所を市内猿沢池畔に新築し、事業として蚊帳生地及び附属品の交換会を興し、会員相互の手持品を融通し且つ過剰製品の調整を行つたが、次第に毎月の交換売買金額は上昇し遂に投機的商内の様相を帯びて来た。

たまたま大正五、六年頃から景気は上昇し、七、八年には殊に繊維品は異常の高騰となり、綿かや「八十」一張が十二円五十銭と倍額以上ともなつた為、交換会の買建は度毎に利益を生み、非常な発展となり同盟会納入の歩金も相当な額となつた。

然るに大正九年の春を頂上として俄然綿糸相場は崩れ始めた。その崩落振りは悲惨を極め、蚊帳の最盛期となつて「八十」を六円に下げても買手がない状態となり、各地の得意先、殊に行商関係先より争うて契約解除、出荷見合せ、既送品の値引等の掛合に来られて全く混乱当惑し、再び立ち上れない程の予想外の大損失を蒙つた。

大正十年は前年の損害で手元金もなく、又買手もないので殆んど時期になる迄製造に着手する者もなかつた。然し地方には未だ購買力があつて、四月から五月にかけて九州方面から売れ始めたので、製品はまたたくうちに底をつき、昨年とは反対に買あさりが始まつた。値段こそ突飛に跳ね上らなかつたけれど、遠方各地から現金を携え宿をかけて請求に来られ、当方も断るのに毎日困り果てた。中には前金でも渡して他店行のエブ紙を書換えて出荷を争う人まで出て、手のつけようのない嬉し

い悲鳴であつた。この様にしてこの年は売行がよかつたので、昨年の大損害の大半は取りかえし短時日の商戦は終つた。幸い十一年、十二年と続いて好況であつたので、この頃から奈良の蚊帳製造業者が次第にふえ始め倍加した。

大正も終つて世は昭和を迎えた。諒闇中から御即位式も終り三、四年頃から不景気風が吹きまくり、六、七年を頂上に愈々経営が行き詰つて来た。積極方針で通つた明治時代の豪商店は、次々に組織の変更、縮小、閉店などで以前の面影は全く消え失せ、業界は火の消えた様な状態となつた。この頃から新しい業者が堅実商策の下に漸く発展して来た。

十二年の日支事変の勃発以来軍用品は急激に増加し始めた。茲に注目した業者は、蚊帳工業組合の事業として組合名で受注に全力を傾注し、十三年一月初めて滋賀、福井、広島等の所謂麻八会と対等に、九分の一の注文を受け見事に完納した。それ以来毎回発注の都度数量が増加され、終戦間際には奈良の業者が殆んど一手で軍部の御用を承つた次第である。

昭和十七年政府の企業統合令が出て、製造数量、ミシン台数等により一定の線が引かれ、これに満たざる業者は統合する様指令された。弊店は千載商店、吉田(義)商店を吸収して、個人

〝卒〟〝直〟〝言〟

第三・四半期の景気見通し

不況底入れ景気回復を期待

第三・四半期は財政資金の巨額の支払超過で金融はかなり楽になり、目先き明るい気分も出てきているが、事業会社の生産調整は操短によるコスト高からハカバカしくすゝまず、輸出の見通しもパツとせず、設備投資も減退するうえ一般大衆の所得、消費の面にそろそろデフレの影響が出てくるなど景気回復財政面からの景気対策によつてどの程度中間景気的な様相が出てくるかが問題だが、全般にはナベ底景気のまゝ今年を終ることになろうとの見通しが強い。

第三・四半期の経済で最も問題とされるのは金融がどの程度ゆるむかだが、これは財政の大巾払超で金融市場としてはかなり緩むことになりそうだ。

まず財政の数字から見てゆくと第三・四半期は三、二〇〇億円の大巾支払超過が予想されている。これは昨年同期の二、〇一一〇億円を五割方上回り、米の豊作と輸出の伸びが重なつて戦後最高の払超となつた三十年同期の二、八二四億円をも上回る大きなものである。

だいたい第三・四半期は、米代金の支払が集中して食管会計が大巾の払超となるほか、一般財政の支払もすゝむのでいつも払超となるのだが、今年の場合例年に比べて特長とされるのは、一般財政の支払がとくに多いことである。第三・四半期の財政資金は、外為会計が二〇〇億円の払超、食管会計が一、二〇〇億円の払超、一般会計が一、八〇〇億円の払超で、この一般会計払超額は前年の六三四億円、三十年の八四五億円をそれぞれ大きく上回つている。これは不況の滲透のため税収の伸びが鈍化してきているのに対して、予算の歳出規模が年々大きくなつているためである。

税収は昨年に比べて一〇〇億円ほど少いと見込まれるのに対して支出の方では、さきの政府の景気対策のため、公共事業費や財政投融資関係の繰上げ支払が行われるからだ。また食管会計も米の豊作で昨年より一〇〇億円ほど多く、外為会計でも輸入の低調で毎月二〇〇〇万ドルの黒字が見込めるから固くふんで二〇〇億円の払超が見込めるというわけだ。

一方経済界の現金需要を反映する日銀券は供給過剰の圧迫による事業活動の停滞がつゞく結果、期中一、七五〇億円程度の増発にとゞまるとみられ、銀行の手もとは差引き一、四五〇億円ほど余裕ができて、これだけが日銀借入金の返済にあてられる見込みである。この日銀借入減少額は、三十年同期の一、一五億円よりも大きいが、なお年末三、五〇〇億円ほどの借入残高が残る計算であり、この圧迫のためとくに都市銀行にあつてはそれほど手許がゆるむという感じはないようだ。しかしもともと日銀借入の少い地方銀行や、米代金の流入でうるおう農林中金はかなりの余裕金を生ずることとなるので、日銀としてもこれがムダな方向に流れないため売オペレーションで直接その一部を吸上げる方策をとることとなろう。

さて第三・四半期の資金需要であるが、これは例年季節的に内需が活潑となる時期だけに、これまでに比べると全体としての需要は増大するであろう。しかし需要の内容に立ち入つてみると、かなり変つた姿をとることとなろう。というのは、事業会社の生産活動や商取引が沈滞のまゝ推移するため設備拡張や原材料買入れといつた直接企業に関連してくる資金はそれほど増えず、その代りに季節的な増加率の大きい消費資金と、政府の財政投資がふえ、これが全体としての需要を支えるという姿をとるだろう。公共事業費や財政投融資につながる政府事業の支出などが中心となるわけだ。

このように人為的に需要が支えられるから第三・四半期はこれまでの供給過剰がさらにすゝむことはないとしても、実態の悪いまゝ横ばいという形になりそうだ。企業の採算は相当悪化しているから九月期決算は前期と比べて一割方悪化が予想されているし、不渡手形や企業の倒産、失業者発生などはいまはそれほど目立つた変化はないが、企業の実態悪化に伴つて今後の動向が心配されている。

要するに第三・四半期については目先き金融は緩和しても経済実態は悪く、政府の景気対策カンフル注射的な意味しか持てないだろうから、企業は低姿勢で生産調整能力をつみ上げ、体質改善につとめることが必要もあろう。(日商情報より)



◎観光施設これでよいのか

M K 生

今回、たま〳〵外人を案内して、奈良、京都、大阪と遊覧する機会を持つことができた。

宝塚から奈良迄、車を走らせたのであるが、その途中の道の悪い事はお話にならず、五月の中旬の事とて暑いので窓をあけると砂塵が遠慮なくまいこんでくる。車が大きくローリングしたり大きな穴に落ち込んだりする。その前を小型三輪や大型バスがひしめきあつて走つてゆき、排気ガスをあびせかけるといつたていたらくで、我々でもうんざりしたのだから特に世界

社訓
一、最良の製品
一、最大の努力
一、最高の信用
社是
一、感謝の実意で社会の為に、求める前に先づ勉めよう
二、懸命の努力、一流の製品、誠実の取引は最大の信用を得る
三、積極は危険、消極は遅れる。稍々積極に視野を広く持とう
四、一人一人が自己の責任を果そう。権利の裏には義務がある
五、協同の福祉は自己の繁栄、上下心を一にして互に励もう

植田蚊帳株式会社に組織を変更し、奈良市肘塚町一一一番地の既設編織工場所在地に、工場を増築、営業所を併置して昭和十八年二月十日登記完了した。

終戦後は吾社の大切な市場であつた朝鮮、台湾、沖縄を失い無形の損失が大きかつたが、其後着々国内各地の新しい得意先確保に全力を注いでいる。他方二十六年に広巾織機を復元し、二十九年二月には染色乾燥機を新設し、次いで三十二年二月には原糸加工場が完成して、小規模乍ら独自の製品を一貫して作る事が可能になつた。

昨今は業者の増加、製品の過剰から販売競争は毎年激化の一途を辿つている。思えばこの激しい競争の中から製品や技術の進歩と改良が生れてくるのだけれど、徒らな品質を低下させる様な価格競争のみに走らず、斯界の先覚者に習つて、品質(染色・織風)に一段と工夫を凝らして、お互いの信頼と協力に依り、奈良蚊帳の名声を高める様な独特の製品を作り出す様心掛け、われひと共に繁栄する共同の利益を図れないものだろうか。

(終り)

終りに本社はこの十二月を以て蚊帳創業満五十年に達している老舗であり且又左の社訓と社是を「モツトー」として堅実な経営を続けられている。

各国を廻つているという二人の外人はどの様に感じたか案ぜられた次第であつた。

有名な社寺仏閣ではえらく商売気をだしてしまつて、つぎの観覧券を発行し各部処毎に鋏を入れたり、もぎつたり、まるで場末の映画館の様で、それに大型の観光バスが蝟集してきて吐きだされた群集がぞろ〳〵見てあるくのであるから、いにしえのさびのある日本情緒を味わつて貰うもへつたくれもなく、人ごみにおされて知らぬまにゆきすぎたり、見たいと前から切望されていた仏像の前にあまり沢山の人が集まつているのでゆつくりみて貰うこともできずといつた有様であつた。

土産物といつたら、例の如く子供だましのものばかりで遂に二人とも何も買おうとしなかつた。

観光日本と口先ではいうが実際には殆ど何もしていないというのが直接衝にあたつてみてつくづく感ぜられた次第である。これでは彼等が口ぐせに今からたのしみにしている「停年後世界各国をまわつてあるく」というスケジュールの中に、とても日本を入れて貰えないのではなかろうか。

（経済人七月号より）

商売往来

◎店員指導に……こんな手もある……

（問）小売店を営んでいるものですが、店員訓練を行いたいと思つております。外部の講習会に出席させるのも一法と考えましたが自店でも行つたらどうかと考えています。よい方法がありましたらお知らせ下さい。

（K生）

（答）実例によつて申しますと、ある菓子店では一週間を新入店員の教育にあてています。

大体毎朝一時間ぐらい、商人について、商売の常識について、販売について、店頭販売について、といつた課目にして、店主が行つていますが、「店員の心得」といつた自店のものを利用して行つています。

ある靴店は営業時間中、ひまな時間をみはからつて、二年先輩の店員が、靴のみがき方を、三年先輩の店員が修理の方法、四年先輩のものは靴の作り方、五年先輩はお客に接する態度などを教えています。つまり先輩の店員が講師になるわけですが、講師になることによつて、本人も勉強になるので一石二鳥の効果を上げています。

あるレストランは毎週金曜日の朝八時三十分から九時までの三十分間、教養の時間にあてています。

講義は言葉づかい、洋食のエチケット、色彩感覚などを、宗教家や専門家を招いて行つています。この金曜日に選んだことは、一週間のうちで一番忙しい曜日なのでその日は早目に出勤してもらい、心をしめるためです。

勿論早出手当を出しますが、店員のほとんどが出勤し、成績にもいい影響をあたえています。

ある洋品店では特別にこれということはやつていませんが、店主がいつもお客に喜ばれようと、毎日の仕事を通じて行つています。

たとえば店員がお客と応待しているところを絶えず見ており、時によつてはいまのはああするよりこうすればよかつたなど、相談的にいつています。また固定客が多いので、お客の好みと、名前を早くおぼえるように指導しています。

ある喫茶店は店員が多いところから、店員食堂、宿直室、廊下などに店員教育になる資料をわかりよく漫画あいなるは統計どのポスターにして、はりめぐらしています。

こういうように壁にはつてあれば、店員はこれに刺激され、よい店員になろうと努力します。

これと同じゆき方として、卓上日記というものに教育事項をかき、これを朝、店を開くとき読ましているところもあります。

日記帳の七月二十日付には「自分が店主になつたつもりで仂くこと」二十一日は「お中元も終り夏枯れどきだといわれるがこれからは特に心を合せて努めましよう」二十二日は「言葉にも行動にも微笑みを持つて」といつた具合です。

その他店員と一緒に風呂に入つて、話し合つたり、販売会議を開いて、教育をする方法があります。いずれも命令式ではいまの若いものは反感を持ちますから、相談するようにすることが肝要です。たとえば店員がもししくじつたときなど、店主が「私もしくじつた経験があるのだが、今日の君はあの時の態度はこうした方がいいんじやないか」といつた調子で注意することです。

題してセールスマン読本

この頃、自動車の販売競争は、なかなか激しいようだ。ある自動車会社では、婦人部をつくり婦人セールス・マンの養成を始めた。

そこの一期生が友人の紹介状をもつて、やつてきた。自動車の運転は習つているが、車を買う自信がないので、習う方にもどうも身が入らない。いろいろ話を聞いてみても、売り込みにどうもアイデアが足らないようだ。

そこで、私は、二つのアイデアを与えた。自動車練習所を回つて、大学教授、芸能人、医者、中小企業主など車を買う経済力のありそうな人を調べあげて、免状をとる一歩手前の人に片端しから当つてみてはどうかというのだ。

つぎに、医薬メーカーに行くと、医者のところを回つている係がいる。そういう人に、車を買いそうな医者を教えてもらうことである。

とにかく、セールス・マンはもつと頭を使う必要があると思う。映画を輸出する場合だつてそうだ。戦後、イタリアの映画が世界市場に現われた。これは優秀映画をつくつたからである。その証拠には、少し輸出が好調になると、質を落し始めたので潰れる会社も出た。日本の映画が海外に出たのも、優秀作品に限られている。

そういう点からいうと、何でも質のよいものを、輸出することが第一である。面白いのは、カメラなどで、ライフ誌に一頁広告を出すと大変な反響があるらしい。

ライフの一頁広告ともなれば莫大な広告料をとられる。そういう広告料金を払える商売は、優秀商品に違いないという信用があるからである。

これなどなかなか面白い。日本では、まだそれほど、信用のある広告というものがない。たとえば、耐久消費財にしてみても、宣伝のゆきとどいた某社の製品よりも、それほど宣伝していないあるメーカーの製品が技術的に優れているとの噂が、高いのはどういうのであろうか。

これは、製品より宣伝が巧みなメーカーがあるかと思えば、製品は優秀だが、宣伝が遅れているという事実がある証拠であろう。

これは、いずれも消費者中心の経営が確立されていないからである。売れさえすればよいとか、いい物さえつくつておけばそのうちに売れるといつた考え方があるからではなかろうか。

もしも、優秀品質のメーカーが本格的な宣伝で販売すれば、宣伝のみに頼るメーカーは圧倒され、品質改善に努力せざるを得なくなるであろう。

また、よい品質をつくるメーカーは、宣伝に力を入れて、それを広く普及させるのが、経営者の社会的責任でもある。そういう点、日本はまだ遅れているようだ。

（加地礼助）

「茶ばなし」

―ある実例から―

十年間で十億円節約する方法

ほんまてすかいな

○…十年間で少くとも十億円の経費が節減できるといつたら、世の経営者は一ひざ乗りだすだろうが？しかもいろいろな合理化策と違つて、これには特に設備もいらなければ、資金もいらぬというから、大変ウマイ話である。が、タネを明かせば至つて簡単、従業員の家族計画つまり産児制限の指導である。そんなバカなといわれる向に、一つの実例を紹介しよう。

○…富士電機製造といえば、だれでも知つている有名メーカーであるが、その有名なことの一

つに〝労仂争議のない会社〟というのがある。これはいうまでもなく同社のすぐれた労務管理を物語るものだが、その一つに皆得の家族計画の成功があることは案外知られていない。もつともこの家族計画ははじめから労務対策として登場してきたというよりは、同社の付属病院長の提唱が、一方では会社幹部を動かし、他方労仂組合の共鳴をえて今日に至つたという方が正確だろう。

○…富士電機が積極的に従業員の家族計画を樹てたのは昭和二十三年からで、赤旗と労仂歌に明け暮れる当時の社会情勢の中で、労仂者の生活向上を主眼にはじめられたわけだが、その後同社の川崎地区社宅における指導結果をみると、昭和二十三年には三百十世帯の出産数五十九件、一七・九%だつたものが、三十年には三百五十世帯中僅かに七件、二%と、七年間に九分の一という驚異的な成果をあげている。指導方法は特別変つたことはなく、はじめ三十人程度の集団に対して映画などを使つて指導、その後で希望者に個別指導をするといつたやり方だが、集団指導では他のいかなる会合よりも集りがよいと会社幹部を驚かせている。

○…さて、いよいよ〝十年間で十億円節約〟の中身だが、富士電機ではこんな計算をしている。まず一年間の受胎調節成功例を百五件（妻の出産百、婦人従業員本人の出産五）とした場合、経営者の直接利益は

①家族手当五百円×十二月×一〇五＝六十三万円②夫の欠勤による生産損失五千円（一日の生産額）×七日×百＝三百五十万円③右に対する差金（%利益率）三百五十万円×二〇%＝七十万円④右欠勤に対する諸手当六百円×七日×百＝四十三万円⑤本人出産による生産減四千円×八十四日×五＝百六十八万円⑥右に対する差金百六十八万円×二〇%＝三十三万六千円⑦右に対する諸手当五百円×八十四日×五＝二十一万円⑧ほ育による生産減＝五百円×二百十日×五＝五十二万五千円⑨右

▽!!会議所便り!!△

会議所の検定試験は国家試験に準じられる

労働省では、労働者に必要な技能を習得させ、また向上させるために職業訓練および技能検定を行い、工業その他産業に必要な技能労働者を養成し、職業の安定と労働者の地位向上を図り、経済発展に寄与する目的をもつて第二八回通常国会で成立をみた職業訓練法は、去る五月二日法律第一三三号をもつて公布されたが、同法第二二条に公共職業訓練および認定事業内職業訓練における職業訓練指導員を志望する者はすべて労働大臣の免許を受けた者でなければならないことに規定され、この免許を受けるには同法施行令第一条に規定された有資格者以外の指導員は同法第二四条に規定された実技試験および学科試験に合格した者となつているが、労働省令で定めた一定の資格を有する者に対しては実技、学科の両試験の全部または一部を免除する事ができることになつている。この規定に基いて八月二五日労働省告示二二号をもつて官報に公告された内容をみると、第六条に各種の国家試験合格者（公認会計士、税理士試験等のほかに、日本商工会議所、各地商工会議所主催の各種検定試験のうち珠算（一級）簿記（上級）和文タイピスト（一級）英文タイピスト（A クラス）の合格者は実技、学科試験の全部もしくは一部を免除されることになつている。

◎年末融資保証の受付は会議所でも

奈良県保証協会では目下、中小企業者のために年末特別融資保証の需要に応じていられます。御希望の方は早い目に御申込せられます様御知らせ致します。当会議所でも受付致します。

一、申込受付期間
　十二月二十日まで
一、申込資格
　県内の中小企業者で同一事を六ケ月以上継業続して営んでいるもの（遊興、娯楽を除く）
一　保証の限度額
　個人　三十万円以内
　法人　五十万円以内
一　資金用途
　事業上の運転資金
一　保証期間
　四ケ月以内
一　保証料
　特に日歩六厘とする
一　連帯保証人
　個人　二名
　法人　役員の個人資格による連帯を要する
一　担保
　原則として担保は徴収しないが但し特別の事情ある場合は担保を徴する
一　対象金融機関
　銀行、相互銀行、信用金庫、信用組合、商工中金、国民金融公庫
一　申込所
　奈良県信用保証協会、県商工課、取扱金融機関、県商工会議所

新入会員紹介

前号掲載に引続く新入会員を御紹介申上げます。会員も逐年増加致しまして心強い限りでございます。お互に手をとり合つて商工業の発展に寄与してまいりましょう。

奈良市南京終町	橋本町	吉野郡川上村	五条市二見
〃	〃	〃	五条
大和郡山市柳四	奈良市三綱田町	磯城郡田原本町	奈良市大仏前
東寺林町	〃	餅飯殿町	〃
高天町	高畑菩提町	〃	〃
北京終町	大和高田市市町	奈良市川上町	天理市川原城
御所市	北葛城郡香芝町逢阪	桜井市	奈良市高天町
晃平町	〃	南京終町	大和郡山市奈良口
〃	柳三	堺町	奈良市京終地方西側町
大和高田市出	奈良市高天町	〃	上三条町
〃	北京終町		

奈良トヨペット（株）	河合広子	春日増平	吉久木材（株）
（株）紀陽銀行五条支店	大和特殊印刷（株）	山根光男	（有）忠岡商店
森平八郎	王竜寺ゴルフ（株）	河口実	（株）えり甚
（株）大仏館	山口太郎	林東助	大坂義治
山一自動車販売（株）	ロマンバス本舗	三岡丹一	堀久男
（株）帝国興信所奈良支所	橋本儀一	吉田電機（株）	奥山正雄
忠冠酒造（株）	和田吉治郎	徳橋皖宥	村上青紫園
（株）本田也	今西久禎	虎枕昭	

商工会議所の会員になれば どんな特典があるか

会議所の会員になると次のような特典があります

一、**商工会議所**は商工業者の自主的な集りであります。そしてその地区における唯一の綜合的経済団体として諸種の研究分析に基いて商工業の発展振興を図り社会一般の福祉を増進するため、公正中立な立場から其の利益と繁栄のため、廣汎な活動を行つて居るのであります。

商工業者の発展的な意見、進歩的な施策は**商工会議所**において結集され、発展して行くのが常であります。

一、**商工会議所会員**は全国四百の**商工会議所**のどこへ行つても同様の利便が與えられます。

一、**会議所のホール、会議室**その他各種の施設が優先的に利用できます。

一、**会員が納入する会議所の会費**は個人でも法人でも税務上の必要経費として落せます。

未だ会議所に加入されておられない商工業者はこの際進んで**吾等の会議所**に加入の上共通の目的のためにその力を結集して頂きたいと存じます。

一、商品の販賣、仕入及原材料の入手斡旋、商取引の照会調査及紹介状、各種証明書等特別の依頼申込が出來ます。

一、**税金　特許、店舗設計、工場商店の経理会計商工**関係の法律などについて**無料相談**がうけられます。

一、各種の**説明会、経済指導講演会、商工技術講習会、懇談会等**に出席し、又は**展示会、展覧会、見本市**などに優先出品が出來ます。

一、**原産地證明**をはじめ**貿易**に関する一切の証明は必ず**商工会議所**で受けねばなりません。

一、**会議所発行の機関紙「商工だより」**や**「会議所情報」**其他の刊行物の無料配布が受けられます。

日本タイプライター
最新YS8型萬能機



書庫と金庫



カタログ贈呈
御一報次第

貸会議場御案内

総会に!!
講演会に懇談会!!
交通至便・サービス的料金
湯茶無料提供の
貸会議場を御利用下さい。

小ホール	四〇〇	四〇〇	六〇〇
大ホール	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇
午前	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
午後	全日	夜間	

奈良市近鉄駅前
大和経済倶楽部
電話六〇七五番

各種印刷とはかりの製造所
奈良県官報販賣所
奈良明新社
奈良市橋本町 電話 4577～8・6236～7・2246

生産性向上に
偉力を発揮する
オートメーション計器



主要製品
温度計　湿度計　ガス分析計
水質計　pH計　流量計
水位計　p位置計　通風計
各種自動制御装置グラフィック・パネル用計器
Barton計器　Fischer & Portes計器

北辰電機
工場　奈良市南京終町201　電話奈良 6,301～6,303代表
本社　東京都大田区下丸子町321電話(73)1141・2241代表
支店　大阪東区今橋4—1三菱信託ビル電(23)2101・2102
営業所　小倉・呉・名古屋・富山・高松・徳山・札幌

△編……集……後……記▽

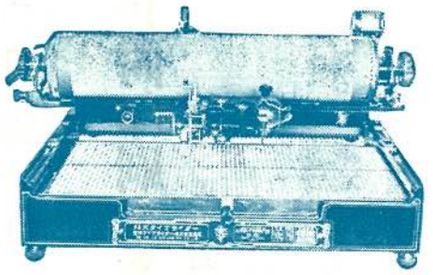
来年は知事さん、市長さん、県会議員さんなど総て任期満了して選挙の「オンパレード」とでもいう年ですが、会議所では一足お先に今秋会頭以下役員、議員の改選も無事すみまして、新らしい陣容と新らしい意気の許に出発することになりました。鍋底景気と云われた今年も勤務評定反対、道徳教育反対、警職法反対それに続いて全逓ストのお蔭で郵便は遅配する、女の学生迄、勉強をそっちのけで闘争に参加する、何だか革命寸前の様な騒がしいうちに、今一ケ月で過ぎ去らんとしています。

こうした騒がしい世の中にあつて、しかも変転極まりない経済界に商工業者皆さんの良き「スポークスマン」として又「サービスセンター」として県内産業振興の上に重き役割を持つ商工会議所であつて見れば、日々これ「サービス」でありたいものです。この小誌もこの心を心として一字一句が何か商売の上に、企業経営上にお役に立つものでなければなりませんが事志と違い仲々ピツタリと参りませず、汗顔の至りです。

さて本号には御帰朝早々の高椋奈良市長さんの玉稿を頂き、誌面を飾らして貰いました、又本県特産物の紹介の「トップ」を奈良蚊帳の今昔として植田蚊帳KKの今は故人として旅立たれました前社長さんのお話を、のせさせて頂きました。次号から引続き本県の誇りとなる特産の一つ一つについて御紹介させて頂きたいと念願して居ります……K生

昭和三十三年十一月二十五日印刷
昭和三十三年十二月　一　日発行
編集兼発行人　奈良市東向中町六　中村貞三
印刷人　奈良市橋本町三六　乾太郎
印刷所　奈良市東向中町六　奈良明新社
発行所　奈良市東向中町六　奈良県商工会議所　電話奈良代表六〇七五
定価一部　五十円（送料共）

日本タイプライター
―最新YS8型萬能機



AL―7型　¥ 49,500
YS―8型　¥ 56,000

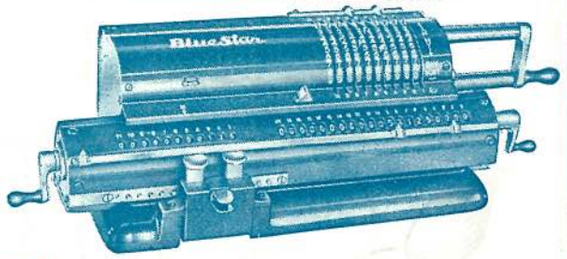
書庫と金庫

カタログ贈呈
御一報次第



最新式の赤外線焼付塗装により極めて優美堅牢、シリンダー錠符合錠にて完全な保管が出来ます。

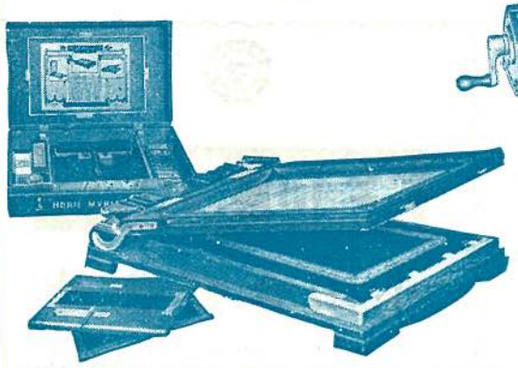
ブルースター計算器



連乗計算の多い御使用先に最適な手動式としてあらゆる御要望に應える国産計算器の最高級品です

20―T（20桁・連乗型）　¥ 35,000
20―D（20桁・十進式）　¥ 30,000
13―T（13桁・基本型）　¥ 25,000

三元式堀井謄寫版



本機の特長は印刷位置の任意の調節と原紙枠の仰起を自動・半自動・手動の三様式に変換し、印刷用紙を完全に挟持することが出来る三点にあります。

¥ 4,000

各種印刷とはかりの製造所

奈良県官報販賣所

奈良明新社

奈良市橋本町　電話 4577～8・6236～7・2246

生産性向上に偉力を発揮する
オートメーション計器



商工業に関する事なら

税務・金融・法律・特許
経理・経営・取引・その他

どんなことでも
お気軽に御出で下さい。

奈良県商工会議所商工相談所

奈良市東向・近鉄駅前・
電話 6075. 6076. 6077

…記▽

…さんなど総て任期満了して選挙…、会議所では一足お先に今秋会…て、新らしい陣容と新らしい意…底景気と云われた今年も勤務評…に続いて全通ストのお蔭で郵便…のけで闘争に参加する、何だか…月で過ぎ去らんとしています。…かも変転極まりない経済界に商…として又「サービスセンター」…つ商工会議所であつて見れば、…す。この小誌もこの心を心とし…上にお役に立つものでなければ…参りません、汗顔の至りです。…長さんの玉稿を頂き、誌面を飾…の「トップ」を奈良蚊帳の今昔…派立たれました前社長さんのお…

…二十五日印刷
…一日発行
市東向中町六　中村貞三
市橋本町三六　乾太郎
奈良明新社
市橋本町三六
市東向中町六　奈良県商工会議所
電話奈良代表六〇七五
…部 五十円（送料共）

綜合印刷

共同印刷工業株式会社

社長 近東弘七

本社 奈良市西寺林町
電 奈良六五〇一～三番

大阪工場 大阪市南区竹屋町
電 (27) 七九五一～二番

MANUFACTURERS & EXPORTERS
OF ALL KINDS OF
IMITATION PEARL,
SEED BEAD & OTHER
GLASS BEAD NOVELTIES.

KOYO PEARL MFG. CO., LTD.

227 TAIMA. TAIMA-MURA
KITAKATSURAGI-GUN
NARA-PRE., JAPAN,
TELEPHONE: NAGAO 29

鐵鋼 金物

株式会社 ひのり商店

本店 奈良市今小路町
電話 奈良 五五七 五五七 五八番

出張所 近鉄油坂駅前
電話 奈良 五七六〇番

建築金物製作 ひのり商店鉄工部

櫻井市戒重

西垣林業株式会社

取締役社長 西垣愛太郎

電略「ナラサクライ」ニシリン
電話櫻井 五五五番 五五六番 五五七番
社長宅及夜間用 五五八番

名古屋営業所

名古屋市瑞穂区桃園町七番地
電話瑞穂一〇九三番

印 漢方胃腸強化剤

鯛

増田胃腸丸

橿原市川西町

増田製薬株式會社

電話天満二番・三番

銘木春日杉天井板
尾州檜丸太並に各種造作用材

材辰巨材株式会社

取締役社長 吉田辰五郎

奈良市肘塚町八番地
電話三二六三番

君モ…… 僕モ……
品ノ良イ!!



筆墨製造業

寶文堂

電話 奈良 三一小路町
振替口座 大阪八一三七一四番
取引銀行 住友銀行奈良支店 三和銀行奈良支店 日本勧業銀行奈良支店 南都銀行本店

貸蒲団 寝具再製

小山合資会社

本社 奈良市三条町五八三
TEL (代) 4,321

本社工場 奈良市西木辻ビワ塚
TEL 4,324

営業所

東京事務所
東京営業所
東仙台営業所
北陸営業所
名古屋営業所
大阪営業所
高知営業所
広島営業所
小倉営業所

蚊帳、繃帯、ガーゼ
其他薄織物一般 製造輸出

吉川産業株式会社

本社 大阪市東区北久太郎町一ノ一八
電話㉖三一六七一一五五番
工場 奈良市肘塚町一三八番地
電話奈良三七〇一～三番

綜合建設業

株式会社 奥村組

取締役社長 奥村太平

本店 奈良県北葛城郡香芝町逢坂下田三六
電話
営業所 大阪市阿倍野区松崎町一の五一
電話大阪㊲代表三三七・一五〇〇
奈良出張所 奈良市春日野町四五
電話奈良三七四五
支店 東京、廣島、高松、八幡
出張所 名古屋、西宮、光、松山、福岡、大村、外

墨

古梅園

都ホテル經營

奈良ホテル

皆様の御用命を御待申上げます

奈良市高畑町
電話四一〇一—三

本社 京都ミヤコホテル、東山三條

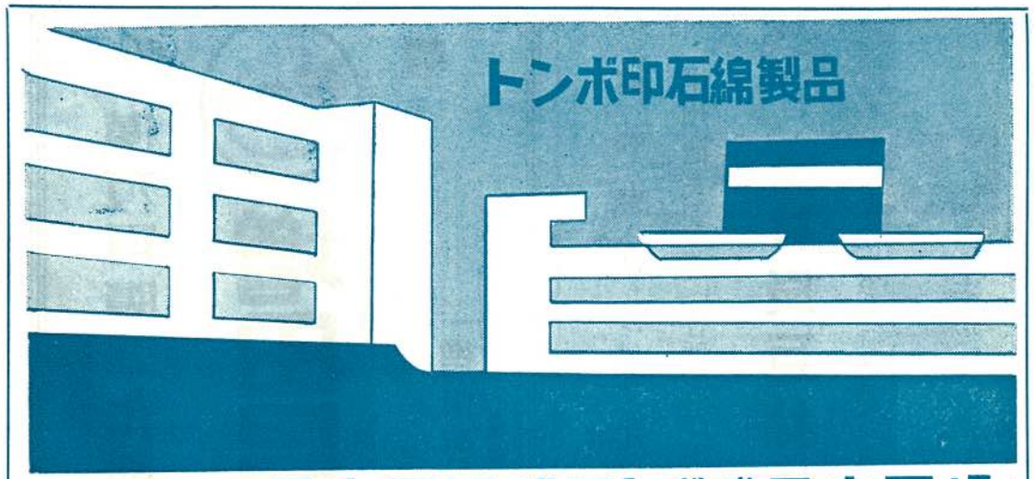


折詰専門の店

精宏軒

季節料理
折詰弁当
寿司
サンドウキツチ
衛生施設完備

奈良市三条川崎町
TEL 3459 7725 7726



日本アスベスト株式会社王寺工場

取締役工場長 森 幸造

奈良県北葛城郡王寺町 電話王寺 38・110・333
本社 東京中央区銀座西六 〃 銀座5701 —— 9
支店 大阪南区塩町四丁目 〃 船場5491 —— 5
〃 福岡市薬院大通二 〃 中 1747・2827
〃 名古屋市中区下前津 〃 南 6591 —— 3

皆様の「憩のいて湯」

①大仏殿五重塔など七堂伽藍が庭の置物のように見える場所に三笠温泉と光明閣があります
②遠く十ケ国の大景観がどの窓からも眺められます
③光明皇后施浴に由来する霊湯で貧血症、神経痛、リウマチ、婦人病に特効があります
④新若草山ドライブ、ウエイは奈良観光の総てをつくす楽しいもので、十国台には野宴場、茶店の設備もあり日本一の景色に恵まれています
⑤近鉄奈良駅前案内所から専用バスで送迎致します
⑥三笠温泉は冷暖房完備の大広間、光明閣は百五十円で御家族、団体向きにと、それぞれの特徴をもつています

国際観光旅館

三笠温泉

（電話奈良 5471～3）

ヘルスセンター **光明閣**

（電話奈良 5071～2）

（日本肥鉄土開発株式会社直営）

純フランス風

喫茶（一品料理）

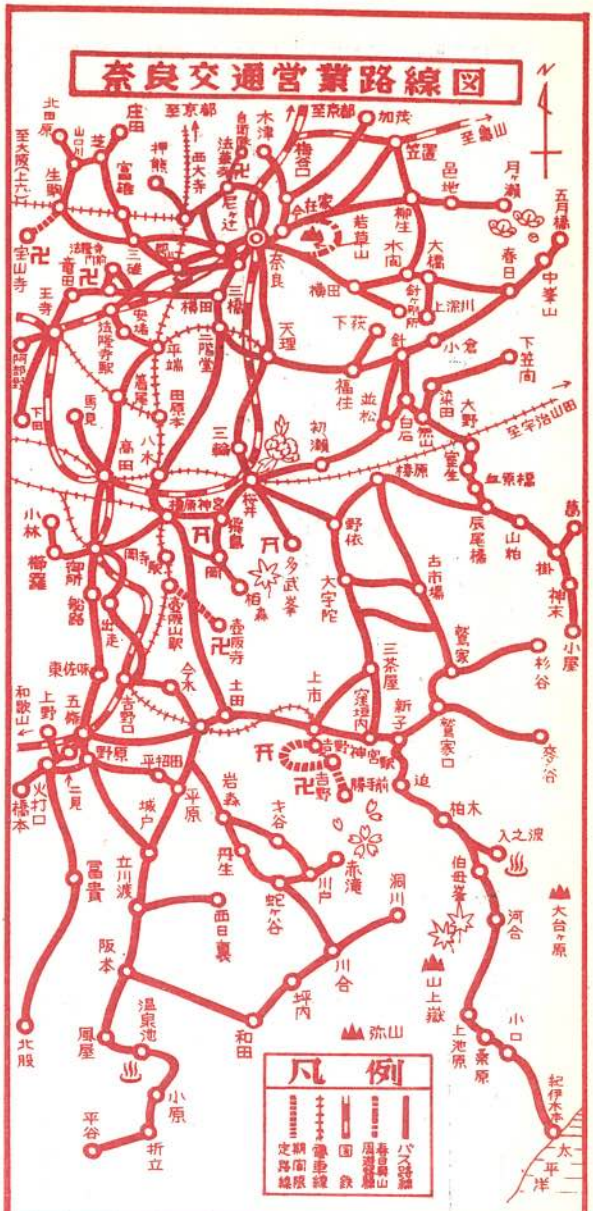
食事（定食・御宴会）

是非御利用願います

商工会議所食堂

電話奈良三五三八番

（暖房完備）



奈良交通株式会社

本社　奈良市油阪町一番地

TEL. 5251～5番

タクシーの御用命は TEL. 5501～4

観光バスの御用命は TEL. 5261～4